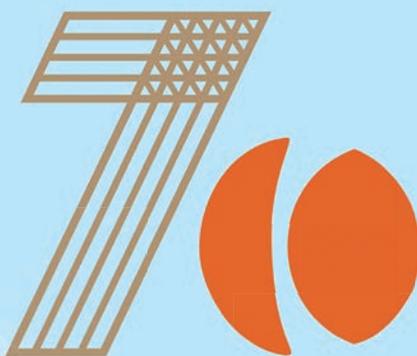


70<sup>th</sup>

創立70周年記念  
KAMO SHINKIN  
REPORT 2024  
2023.4.1～2024.3.31

【70周年記念ロゴマーク】  
加茂の伝統工芸である組子細工をモチーフに  
表現した「7」に、シンボルマークを「0」  
に見立てて寄り添うように配し、70周年の  
数字を構成しています。

この先も、地域の皆さまとともに。



加茂信用金庫

70th Anniversary

## ごあいさつ

平素は、私ども加茂信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

加茂信用金庫は、おかげさまで、令和6年4月1日をもって創立70周年を迎えることができました。

これもひとえに、会員並びに地域の皆さまの永年にわたる温かいご支援とご協力の賜物であり、心より感謝と御礼を申し上げます。また、当金庫の礎を築いてこられた先輩役職員の皆さまのご尽力に対し深く敬意を表します。

当金庫は、戦後の経済混乱のなか、地元有志多数の献身的な努力により、昭和26年1月に新潟県商工信用協同組合加茂支所が誘致開設され、昭和27年7月に同支所を母体に加茂信用組合を設立、更に昭和29年4月にはこれを信用金庫法に基づく加茂信用金庫に改組して役職員10名でスタートして以降、地域の皆さまに支えられ、支え合いながら現在に至っております。

この間、高度成長期やバブル崩壊、リーマン・ショックによる世界的不況、近年で見れば温暖化や地震などによる大規模災害、新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動の停止など、社会は激しく変化し、経済は大きく変動いたしました。

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行を受け、社会経済活動の正常化が進んでいる一方で、日本銀行をはじめとした各国中央銀行による金融政策の動向や、地政学リスクの高まりなど、国内外に散在するリスク要因などにより不確実性が増しており、景気を下押しするリスクとなっております。

私ども加茂信用金庫は、地域社会との運命共同体であり、地域の地域金融機関として、経済状況に関係なく、必要な資金を安定的に供給するとともに、地域が抱える課題解決に貢献することで、持続可能な地域社会の実現に向けて努める所存でございます。

創立70周年を更なるステップとして「心の通うおつきあい」を通じて皆さまから愛され、信頼され、お役に立てますよう、役職員一同改めて創業の精神を胸に刻み、一丸となって努力してまいります。

最後になりますが、皆さまのご清祥をご祈念申し上げますとともに、今後とも、なお一層のご支援とご鞭撻、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

令和6年4月



加茂信用金庫  
理事長 榎 久

## 目次

ごあいさつ	P1
基本方針・奉仕の三原則・当金庫の役員	P2
歴代理事長・70年のあゆみ	P3,4
役員在任期間一覧	P5
業績の推移	P6
創立70周年記念事業	P7,8
店舗一覧&職員紹介	P9,10
・本店営業部	P11
・西加茂支店	P12
・五泉支店	P13
・村松支店	P14
・新津支店	P15
・田上支店	P16
・白根支店	P17
・本部・旧支店	P18
地域とともに歩む取り組み	P19,20
社会貢献への取り組み	P21
人材育成・部活動	P22

開示項目一覧	P23
組織・役員・会計監査人の名称	P24
加茂信用金庫と地域社会	P25,26
信用金庫と総代会制度	P27,28
2023年度における事業概要	P29
主要な事業の内容	P30
金庫の事業の運営に関する事項	P31,32
2023年度決算状況	P33,34
主要な業務の状況を示す指標	P35
預金に関する指標	P35
貸出金に関する指標	P36
有価証券に関する指標	P37,38
最近5年間の主要な事業の状況	P39
不良債権額等	P40
自己資本の充実の状況	P41-45
信金中央金庫のご案内	P46

## 基本方針

中小企業並びに大衆の皆様に親しみある地元金融機関として  
郷土の繁栄に奉仕します

## 奉仕の三原則

「地域社会に繁栄を」「お取引先に利益を」「従業員に喜びを」

### 当金庫の役員 (令和6年4月1日現在)



(2列目左より)

非常勤理事  
阿部 一郎

非常勤理事  
樋口 俊

非常勤監事  
弦巻 博行

非常勤監事  
高橋 利明

(1列目左より)

非常勤理事  
坂上 通男

常勤理事  
福原 一芳

理事長  
杵鞭 久

常務理事  
田邊 和之

常勤監事  
阿部 貴行

# 歴代理事長

1954~



初代  
川崎捨吉

1970~



二代  
丸川長平

1974~



三代  
浅野豊彦

1978~



四代  
高田吉雄

1984~



五代  
古川良二

# 70年のあゆみ



本店開業時



五泉支店開業時



西加茂支店開業時



田上支店開業時

## S29.2.10 信用金庫事業の内許可

4.1 加茂信用組合から事業継承して業務を開始

S34.9.1 村松出張所開設

S35.4.20 五泉支店開設

S51.10.25 西加茂支店開設

S52.10.17 田上支店開設

H8.8.2 大学前支店開設

H11.10.20 テレホンバンクিংサービス開始

11.29 宝くじ販売開始

H12.3.6 デビットカードサービス開始

12.4 しんきんゼロネットサービス開始

H13.3.5 totoの当選金払戻業務開始

4.2 保険窓口販売業務開始(長期火災保険)

10.15 ファームバンクিংサービス開始

H14.2.10 田上町指定金融機関に指定

H15.2.3 生命保険窓口販売業務開始  
(個人年金保険)

3.15 週末ローン相談室開設

1954  
(昭和29年)

1964  
(昭和39年)

1974  
(昭和49年)

1984  
(昭和59年)

1994  
(平成6年)

S39.7.3 村松出張所が支店へ

S40.12.17 新津支店開設

S41.10.24 本店新築移転

S59.12.24 日本銀行と当座取引開始

12.25 上条支店開設

S60.12.25 日本銀行歳入代理店に指定

H2.7.2 外貨両替の取扱開始

H3.3.19 北上支店開設

H4.11.17 白根支店開設



村松支店開業時



新津支店開業時



上条支店開業時



白根支店開業時

1996~



六代  
市川克夫

1999~



七代  
梁取耕造

2010~



八代  
吉川健一

2013~2022



九代  
阿部貴行



創立60周年記念式典



新潟経営大学 連携協定締結式



3金庫連携事業「ふれあいオリンピック」

H26. 5.22 創立60周年記念式典

H27. 3.31 創立60周年記念事業として加茂市へ寄贈  
(訪問介護用車2台)

12.17 新津支店開設50周年

H29. 5.15 新潟経営大学と包括連携協定締結

H30. 4. 6 新発田信金・村上信金と3金庫連携協定締結  
(地域貢献・経営基盤強化のため)

8. 5 共同ATM設置  
(にいつフードセンター荻川店・ウオロク新津店)

10. 9 上条支店を本店営業部へ、  
北上支店を新津支店へ店舗統廃合

R5. 4. 3 県内の金融機関における  
預金等の相続手続き共通化



2004  
(平成16年)

2014  
(平成26年)

2019  
(平成31年)

2023  
(令和5年)

H16. 4. 3 創立50周年記念式典

7.16 大学前支店を本店営業部へ統廃合

H18. 4. 1 投資信託窓口販売開始

H20. 4. 1 加茂市指定金融機関に指定

H22. 3.14 五泉・村松支店創立50周年記念式典



50周年記念式典における  
永年勤続総代と理事長

R2. 3.13 新型コロナウイルス相談窓口設置

5. 8 加茂信用金庫SDGs宣言発表

11.16 西加茂支店を本店営業部のサテライト化  
昼休業導入 (西加茂支店・白根支店)

R4. 8. 1 「パートナーシップ構築宣言」公表

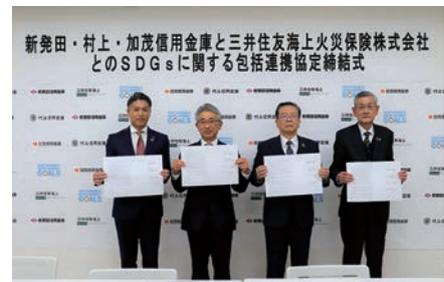
12.22 新発田信金・村上信金・加茂信金の3金庫と  
三井住友海上火災保険(株)で  
「SDGs包括連携協定」を締結



50周年OB役職員  
記念祝賀会



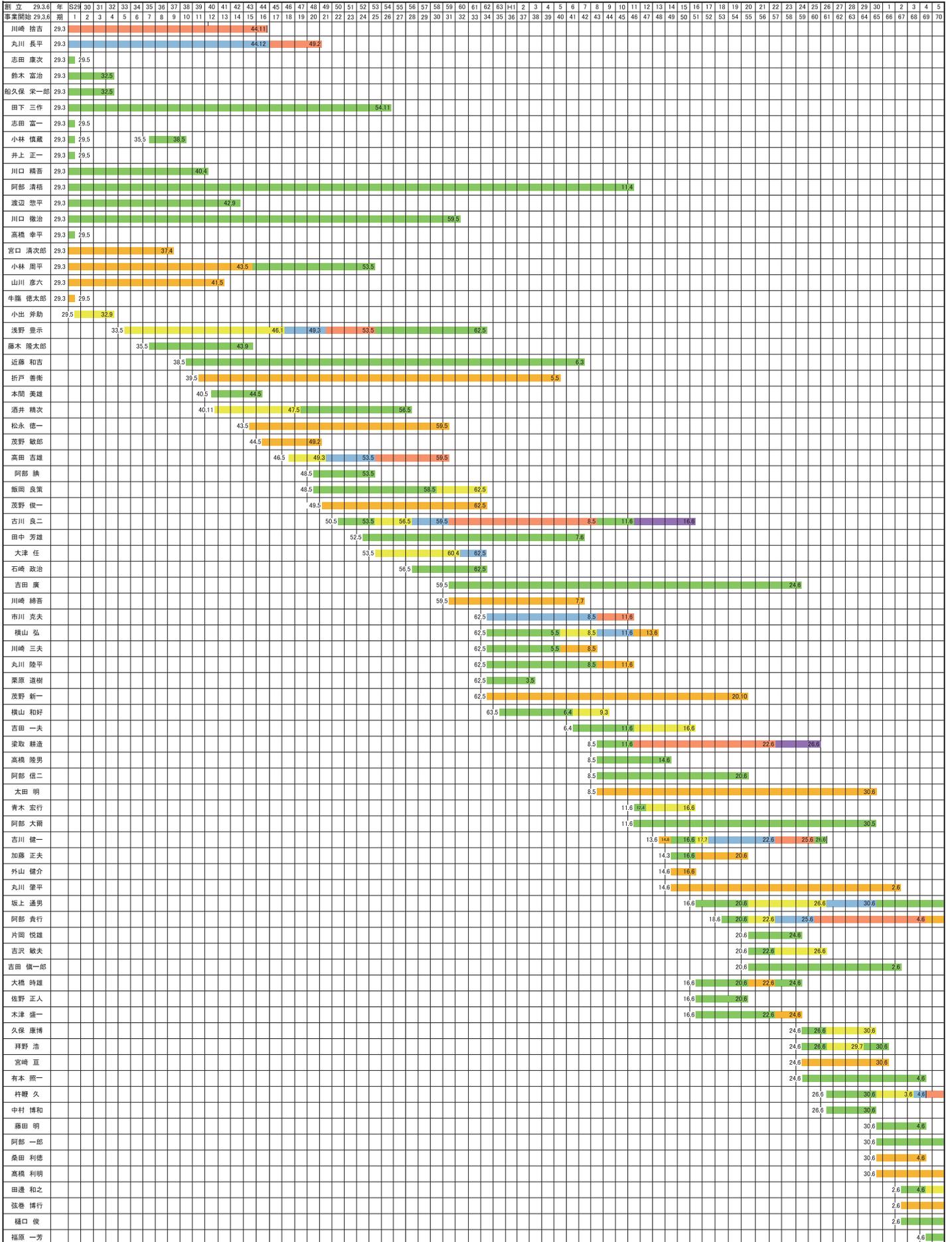
SDGs宣言



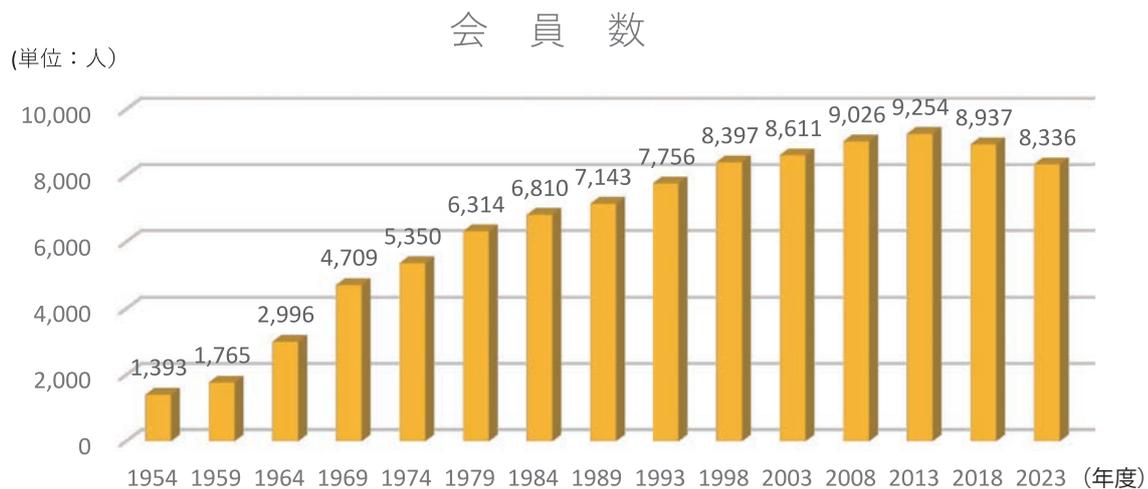
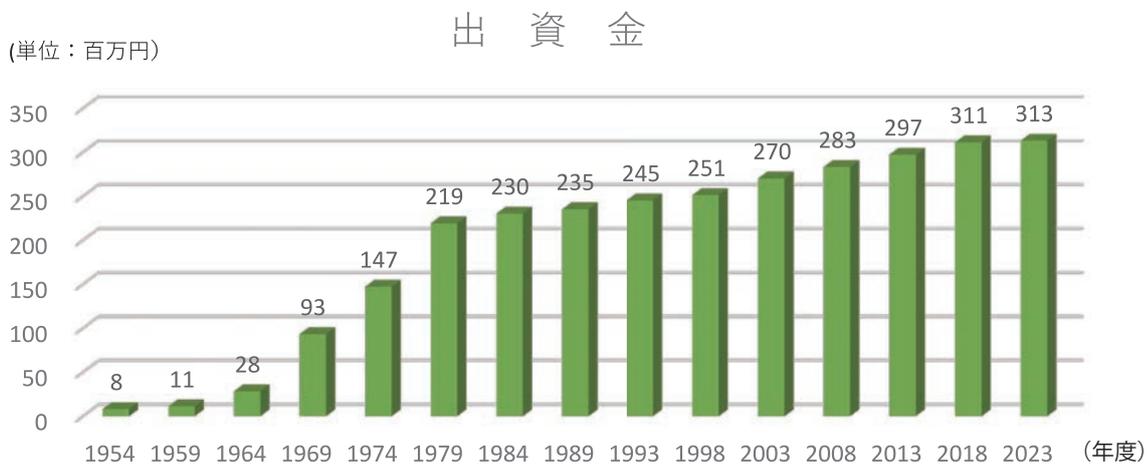
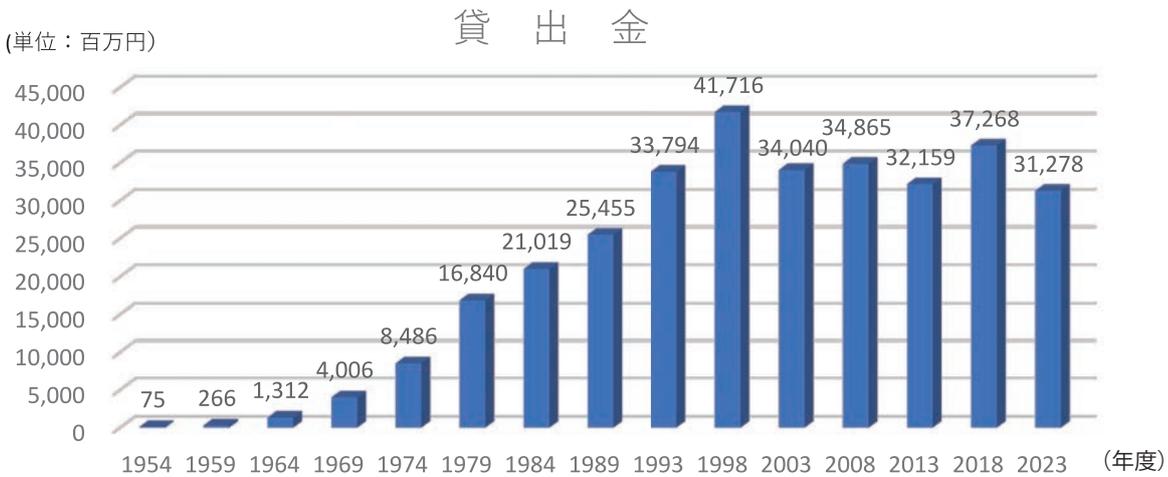
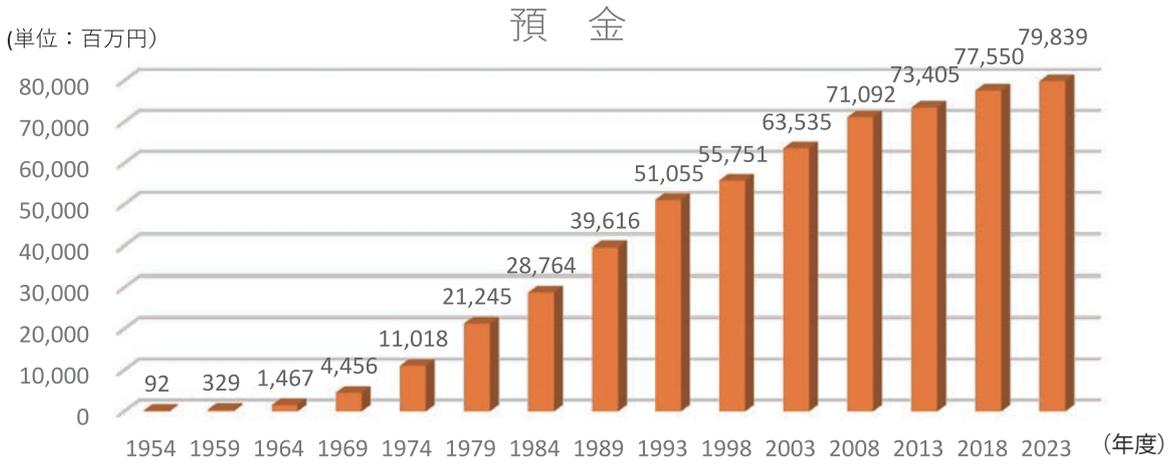
SDGs包括連携協定締結式

# 役員在任期間一覽

■ 会長 ■ 理事長 ■ 専務理事  
■ 常務理事 ■ 理事 ■ 監事



70周年記念



# 創立70周年記念事業

## 【地域貢献活動】 ～地元地域へ感謝を込めて～

### ●五泉市へ寄付<令和6年5月>

6月開設の「五泉市村松適応指導教室」の備品を寄付しました。



### ●「キャップアートパネル」制作 <令和6年4月>

エコキャップ運動で役職員から集めたペットボトルキャップで制作し、各店にて巡回展示中です。



### ●フードドライブ実施

<令和5年10月/令和6年3月>

役職員の家庭から食べきれない食品や日用品を持ち寄り、支援を必要とする家庭などへ提供していただくため「フードバンク」へ寄付をしました。

今後も継続して実施してまいります。



(フードバンクかも・たがみ)



(フードバンクごせん)

## 【記念商品】 ～お客さまへ感謝を込めて～

### ●特別定期預金「にじ」

取扱期間: 令和6年3月22日～6月28日  
(ご好評につき完売いたしました)

日頃の感謝を込めた  
創立70周年記念  
特別定期預金

**にじ**

年0.30% **期間限定**

取扱期間: 2024年3月22日(金)～2024年6月28日(金)まで

商品概要	定期預金(ローバ・定期)
ご利用いただける方	個人および個人の家族
お預け入れ金額	1年 利率 0.30%
お預け入れ金額	10万円以上1,000万円以内(元金制限なし) ※お振込によるお振込みは、お振込当日の午後15時以降はできません。 ※お振込の滞りなく、お振込の滞りなくお振込みください。
お預け入れ方法	お振込

この先も、地域の皆さまとともに。

加茂信用金庫  
https://www.kamoshinkin.jp/kamo/

お問い合わせ先  
総務課 0256-53-2211 商品開発課 0256-52-5126  
営業課 0256-42-4174 課上営業 0256-53-2611  
相談室 0256-58-7199 貸付課 025-373-0520  
警備課 0256-22-2622

### ●特別金利「かもしんきん住宅ローン」

取扱期間: 令和6年4月1日～令和7年3月31日

日頃の感謝を込めた  
創立70周年記念

**かもしんきん  
住宅ローン**

自宅の購入資金・リフォーム資金、  
住宅ローンの借換えなど、住宅資金全般に  
ご利用いただけます。

5年 固定金利 年1.40%  
10年 固定金利 年1.55%

新規申込時  
標準金利 さらに **▲0.3%**

返済方法	返済期間	返済利率
1 返済に余裕を残しながら返済	10年	▲0.2%
2 返済に余裕を残しながら返済	10年	▲0.1%
3 返済の負担が返済途中でも軽減していき	10年	▲0.1%
4 返済途中に返済額を減らすことも可能	10年	▲0.1%
5 返済途中に返済額を増やすことも可能	10年	▲0.1%
6 返済途中に返済額を減らすことも可能	10年	▲0.1%
7 返済途中に返済額を増やすことも可能	10年	▲0.1%
8 返済途中に返済額を増やすことも可能	10年	▲0.1%

5年 固定金利 年1.10%  
10年 固定金利 年1.25%

この先も、地域の皆さまとともに。

加茂信用金庫  
https://www.kamoshinkin.jp/kamo/

## ●スポーツ大会協賛

＜令和6年3月＞

「第17回団九郎カップ ミニバスケットボール大会」に協賛しました。2日間の大会に全16チームの子どもたちが参加し、白熱した試合が繰り広げられました。

今後も継続して各種大会へ協賛してまいります。



(女子優勝チーム:大淵丸山BEANS)



(男子優勝チーム:チームKAZU U12)



## ●金融教育活動

＜令和6年6月・7月＞

地域の子どもたちにお金について考え体験する機会を持ってもらうため、小学4年生を当金庫へ招待し、お金の重さ体験やグループワークなどを行いました。

### ＜今後の予定＞

随時 自治体への寄付（加茂市・田上町・新潟市）  
9月 「加茂市学童野球新人戦大会」協賛

## 【役職員向け】 ～役職員・OBへ感謝を込めて～

### ●ピブス作成

清掃活動等に着用するピブスを新調し、全役職員へ配布しました。



### ●野球部ユニフォーム作成

野球部のユニフォームを70周年のロゴを入れて16年ぶりに新調しました。

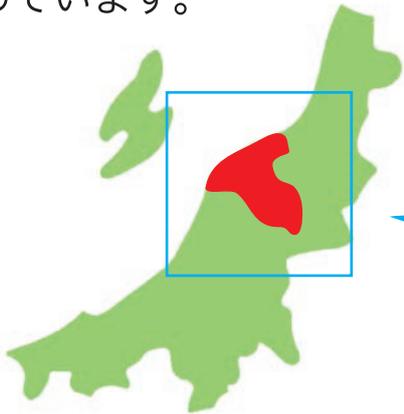


### ＜今後の予定＞

7月 法被の新調  
（8月14日加茂川夏祭りにて初着用予定）  
9～10月 職員旅行（北海道1泊2日）  
11月 祝賀会（OBと現役役職員の交流会）

# 新潟のまんなかで地域に寄り添う。

加茂信用金庫の営業エリアは、新潟県のほぼ中央に位置しています。比較的コンパクトな分、より近く深くお客様とつながり、その強固なネットワークを活かして地域の中小企業や個人のお客様に最善の提案ができるよう努めています。



**加茂七谷温泉 美人の湯**

手ぶらで♪  
**バーベキュープラン**

累が島の四季折々の素晴らしい景色と加茂七谷地区の新鮮食材が楽しめる「デイキャンプエリア」!!

BBQは湯気で必ずモリフレッシュ!!  
お肉は湯気で必ずモリフレッシュ!!

予約は  
こちら  
☎0256-41-4122  
https://www.bjinnoyu.jp/

**ご利用料金(2時間)**  
大人(中学生以上) 5,000円(税込)  
お子様(小学生以下) 3,500円(税込)  
・バーベキュープランは上記のプランのみになります。  
・1組につき4名様からのご利用となります。  
・雨天の場合は中止させていただきます。

**大人メニュー**  
焼酎牛カルビ  
深煎りコース  
香付香チキンの  
ハーフ焼き  
フランクフルト  
七喜野菜のデザート  
焼酎 季節のデザート  
パケット  
七喜酒コシセカリの  
おにぎり

**お子様メニュー**  
焼酎牛カルビ  
深煎りコース  
香付香チキンの  
ハーフ焼き  
フランクフルト  
フライドポテト  
焼酎 季節のデザート  
七喜酒コシセカリの  
おにぎり

## 『加茂七谷温泉美人の湯 バーベキュープラン』

「SCBふるさと応援団」(信金中央金庫の創立70周年記念事業)に、当金庫が推薦して2023年2月に信金中央金庫から加茂市へ寄付をいただいたアウトドア事業です。

大自然の中で手ぶらでバーベキューや温泉・サウナが楽しめるプラン、ぜひご利用ください!

住所: 新潟県加茂市宮寄上13-1  
TEL: 0256-41-4122  
公式HP: <https://www.bjinnoyu.jp/>



■店舗一覧及び自動預払機(ATM)設置状況

店名	所在地	電話番号	自動サービスコーナー		
			平日	土曜・日曜・祝日	台数
1 本店営業部	加茂市本町1-29	☎0256(53)2211(代)	8:00~20:00	8:00~19:00	2
2 西加茂支店	加茂市旭町10-2	☎0256(52)5126(代)	8:00~19:00	8:00~19:00	2
3 五泉支店	五泉市本町3-4-20	☎0250(42)4174(代)	8:00~19:00	8:00~19:00	1
4 村松支店	五泉市村松甲1769-1	☎0250(58)7195(代)	8:00~19:00	8:00~19:00	2
5 新津支店	新潟市秋葉区新津本町2-4-19	☎0250(22)2622(代)	8:00~19:00	8:00~19:00	2
6 田上支店	南蒲原郡田上町大字羽生田114-2	☎0256(57)3511(代)	8:00~19:00	8:00~19:00	1
7 白根支店	新潟市南区親和町3-5	☎025(373)6520(代)	8:45~19:00	9:00~17:00	1
店舗営業時間	【平日】9:00~15:00 【休日】土曜日・日曜日・祝日および年末年始(12月31日~1月3日) 【昼休業時間】西加茂支店、白根支店 11:30~12:30				

■店外自動預払機(ATM)設置状況

店名	所在地	平日	土曜・日曜・祝日	台数
8 上条出張所	加茂市若宮町1-1-29	8:45~19:00	9:00~17:00	1

■共同自動預払機(ATM)設置状況

店名	所在地	月曜~土曜	日曜	台数
9 にいつフードセンター荻川店	新潟市秋葉区田島107-1	9:00~19:00	9:00~19:00	1

※祝日の場合は該当する曜日の営業時間となります。

店名	所在地	月曜~金曜	土曜・日曜・祝日	台数
10 ウオロク新津店	新潟市秋葉区新津5163-3	9:00~21:00	9:00~19:00	1

※にいつフード荻川店、ウオロク新津店の休業日はATMも休業となります。

NIIGATA

7

5

9

10

3

6

TAGAMI

4

KAMO

2

1

加茂山

8

GOSEN

美人の湯



# 本店営業部

(店番 001)

新潟県加茂市本町1番29号  
☎0256(53)2211



## ● 歴代営業部長

丸川長平(昭和29.4.1)	中村由夫(平成14.7.1)
浅野豊示(昭和41.12.1)	吉田一夫(平成15.8.1)
飯岡良策(昭和49.4.1)	木津盛一(平成16.6.10)
古川良二(昭和52.6.1)	大橋時雄(平成18.2.1)
渡辺順平(昭和55.2.1)	佐野正人(平成20.2.15)
飯岡良策(昭和58.2.5)	坂上通男(平成20.6.13)
藤田金五(昭和59.6.1)	久保康博(平成22.6.29)
横山和好(昭和63.2.10)	吉沢敏夫(平成23.1.14)
川崎三夫(平成2.2.1)	坂上通男(平成26.6.19)
横山和好(平成3.2.1)	藤田明(平成27.7.1)
高橋隆男(平成8.2.15)	福原一芳(平成28.2.1)
中村由夫(平成10.2.1)	横山貴弘(平成30.7.2)
吉沢敏夫(平成11.7.1)	小林裕(令和3.7.1)
佐野正人(平成13.10.9)	



主任 主任  
(2列目左から) 今井佳奈 柳生田梓 小柳優里香 野水絢加 樋口凌 小林安宏 神田昭 山崎藍人  
係長 係長 課長代理 課長 部長 課長 課長 課長代理 係長  
(1列目左から) 青木香織 齋藤良介 馬場俊輔 木津千恵 小林裕 加藤正和 田中貴寛 二瓶雄希 遠藤多恵

## 北越の小京都 加茂

加茂市は新潟県のほぼ中央に位置しており、古くから「北越の小京都」と言われ「青海神社」は加茂の鎮守として人々の信仰を集めています。

加茂山には市の花である雪椿が群生する「加茂山公園」があり、桜・紅葉と四季それぞれに表情を変え、リス園や公園もあり市民の憩いの場となっております。



加茂市の花 雪椿



青海神社



加茂山公園

# 西加茂支店

(店番 005)

新潟県加茂市旭町10番2号

☎0256(52)5126



70周年記念

## ●歴代支店長

横山 弘 (昭和 51.10.25)	五十嵐 治 (平成 16.6.10)
木村 武 (昭和 53.2.14)	川島松一 (平成 18.2.1)
監物 威 (昭和 56.2.1)	桑田利徳 (平成 20.6.12)
川崎三夫 (昭和 59.3.1)	藤田 明 (平成 21.2.6)
高橋善一 (昭和 62.2.10)	昆布山正明 (平成 22.4.22)
石黒惇治 (平成 2.2.1)	最上幸彦 (平成 25.7.5)
広瀬庄司 (平成 2.10.15)	福原一芳 (平成 26.7.1)
中村由夫 (平成 4.2.1)	藤田 明 (平成 28.2.1)
吉沢敏夫 (平成 7.2.6)	横山貴弘 (平成 29.2.1)
佐野正人 (平成 10.5.11)	長谷川 修 (平成 30.7.2)
木津盛一 (平成 13.2.15)	横山貴弘 (令和 2.11.16)

## ●歴代サテライト長

馬場 武 (令和 3.7.1) | 川口 徹 (令和 3.11.15)



主任 堀川 葵 | サテライト長 川口 徹 | 山口紗佳

市街地を流れる「加茂川」に、約500匹の色とりどりの鯉のぼりが泳ぐ姿は春の風物詩となっており、毎年8月14日の越後加茂川夏祭りでは、橋同士を結んだ全長2kmのナイアガラ花火も圧巻です。

加茂市の伝統産業は、200年の伝統を持ち全国一の生産量を誇る「桐たんす」が有名で、他にも木工関連等の多くの地場産業が盛んです。



ナイアガラ花火



加茂川を泳ぐ鯉のぼり

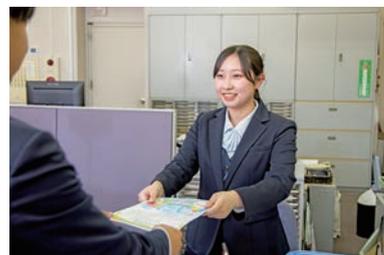


粟ヶ岳

# 五泉支店

(店番 002)

新潟県五泉市本町3丁目4番20号  
☎0250(42)4174



## ●歴代支店長

鈴木政敏 (昭和 34.4.20)	弦巻博行 (平成 10.5.11)
石原幸一郎 (昭和 37.11.15)	久保康博 (平成 12.9.1)
日下部幸雄 (昭和 39.9.10)	吉沢敏夫 (平成 14.2.18)
鈴木政敏 (昭和 42.11.15)	桑田利徳 (平成 14.8.19)
飯岡良策 (昭和 45.5.18)	片岡悦雄 (平成 17.1.11)
横山 弘 (昭和 48.4.1)	五十嵐 治 (平成 18.2.1)
近藤康弘 (昭和 51.3.22)	松尾昌子 (平成 19.3.2)
渡辺順平 (昭和 52.5.2)	番場正幸 (平成 20.2.18)
藤田金五 (昭和 55.2.1)	桑田利徳 (平成 22.6.30)
船木 博 (昭和 59.6.1)	藤田 明 (平成 24.7.18)
川崎三夫 (昭和 62.2.10)	星 和幸 (平成 25.6.6)
高橋善一 (平成 2.2.1)	馬場 武 (平成 26.7.1)
吉川健一 (平成 3.2.1)	遠藤 暁 (平成 28.11.14)
加藤正夫 (平成 5.2.1)	加藤正和 (令和 3.7.1)
木津盛一 (平成 8.2.15)	時田秀行 (令和 5.2.1)



(2列目左から) 佐藤義経 兼田有梨 志田梨奈 大塚あかり 支店長代理 田中 勉  
(1列目左から) 係長 金内悠美 支店長代理 長谷川晶子 支店長 時田秀行 係長 廣澤啓介 塩野 透

## ----- 花と清流のまち 五泉 -----

五泉市は、良質で豊富な水資源に恵まれ古くから絹織物の産地として知られており、ニット産業により発展を遂げ全国トップクラスの生産高を誇っています。また、五泉の名峰「菅名岳」の中腹にある「どっばら清水」は地酒づくりに使われています。

花のまちとも呼ばれ、畑一面に広がる鮮やかな「チューリップまつり」や「ぼたん百種展示園」などには、多くの観光客が訪れます。



五泉八幡宮の七夕風鈴祭



チューリップまつり



東公園の牡丹

# 村松支店

(店番 003)

新潟県五泉市村松甲1769番地1  
☎0250(58)7195



## ●歴代支店長

石原幸一郎 (昭和 34.9.1)	坂上通男 (平成 11.7.1)
鈴木政敏 (昭和 37.11.15)	久保康博 (平成 15.8.1)
日下部幸雄 (昭和 42.11.15)	拜野 浩 (平成 18.2.1)
古川良二 (昭和 45.5.18)	馬場陽一 (平成 19.3.5)
渡辺順平 (昭和 50.2.10)	吉沢敏夫 (平成 19.9.3)
木村 武 (昭和 52.5.2)	片岡悦雄 (平成 22.7.22)
横山 弘 (昭和 53.2.14)	横山貴弘 (平成 23.1.14)
高橋善一 (昭和 55.2.1)	竹内克巳 (平成 25.7.1)
石黒惇治 (昭和 58.2.1)	番場正幸 (平成 28.2.1)
船木 博 (昭和 62.2.10)	昆布山正明 (平成 29.2.1)
監物 威 (平成 2.2.1)	田中貴寛 (平成 30.7.2)
高橋隆男 (平成 4.3.10)	時田秀行 (令和 3.7.1)
加藤正夫 (平成 8.2.15)	中林 寛 (令和 5.2.1)
吉沢敏夫 (平成 10.5.11)	



(2列目左から) 大野 航 岡澤琉斗 弦巻みゆき 志田穂乃美 草野正敏 主任 高地弘侑

(1列目左から) 主任 奥村仁美 係長 熊倉静子 支店長 中林 寛 支店長代理 内田大介 主任 五十嵐春菜

## ----- 歴史と桜の城下町 村松 -----

五泉市村松地区(旧村松町。2006年1月1日に五泉市と合併)は、古くから城下町として栄え独自の伝統と風土を現在に引き継いでおります。各神社の祭りや「のぼり旗祭り」「忠犬タマ公物語」など観光面にも力を入れており、村松公園の桜は日本さくら名所百選に選ばれています。産業は工業団地をはじめ、米・野菜・果樹等の農業のほか、観光用の栗園やリンゴ園もあります。



村松公園の桜



慈光寺



村松のぼり旗祭り

# 新津支店

(店番 004)

新潟県新潟市秋葉区新津本町  
2丁目4番19号  
☎0250(22)2622



## ●歴代支店長

酒井精次 (昭和 40.11.26)	中村由夫 (平成 11.7.1)
高橋儀一郎 (昭和 40.12.17)	高橋隆男 (平成 13.10.9)
藤田金五 (昭和 47.4.1)	川島松一 (平成 14.6.20)
川崎三夫 (昭和 53.2.14)	藤田 明 (平成 18.2.1)
飯岡良策 (昭和 54.6.1)	杵鞭 久 (平成 21.2.4)
渡辺順平 (昭和 58.2.5)	拜野 浩 (平成 22.6.29)
木村 武 (昭和 61.2.15)	竹内克巳 (平成 23.1.14)
石黒惇治 (昭和 62.2.10)	番場正幸 (平成 25.7.3)
吉田一夫 (平成 2.2.1)	竹内克巳 (平成 28.2.1)
船木 博 (平成 5.2.1)	小林 裕 (平成 29.2.1)
梁取耕造 (平成 7.2.6)	遠藤 暁 (令和 3.7.1)
広瀬庄司 (平成 8.8.1)	長谷川 修 (令和 4.10.12)
加藤正夫 (平成 10.5.11)	



(2列目左から) 長谷川司 係長 小熊康介 主任 長谷川嵩 永井映里 石崎雅人  
(1列目左から) 阿部遥華 主任 肥田麻理子 支店長 長谷川修 支店長代理 笹川 恵 主任 齋藤愛子 係長 知野春美

## ----- 鉄道と石油の里 新津 -----

新潟市秋葉区（旧新津市と旧小須戸町）は、東西を阿賀野川、信濃川の二大河川に囲まれ、四季を通じて美しい表情を見せてくれるまちです。かつて日本一の産油量を誇った新津油田のある秋葉区は「石油の里」として知られ、平成30年に「新津油田金津鉱場跡」は国の史跡に指定されました。

古くから鉄道産業で発展し、現在でも新津鉄道資料館や総合車両製造所を有し、週末を中心に「SLばんえつ物語」号が新津～会津若松間を走り続けているなど、鉄道のまちとして知られています。



石油の世界館



磐越西線「SLばんえつ物語」

# 田上支店

(店番 006)

新潟県南蒲原郡田上町大字  
羽生田114番地2  
☎0256(57)3511



70周年記念

## ●歴代支店長

亀山進一(昭和52.10.17)	拜野 浩(平成15.8.1)
船木 博(昭和56.2.1)	桑田利徳(平成17.1.11)
高橋善一(昭和59.6.1)	木津盛一(平成18.2.8)
吉田一夫(昭和62.2.10)	福原一芳(平成20.6.12)
佐藤邦男(平成2.2.1)	大橋時雄(平成22.6.30)
梁取耕造(平成4.2.1)	阿部芳晴(平成24.6.1)
中村由夫(平成7.2.6)	横山貴弘(平成25.7.3)
高橋隆男(平成10.2.1)	谷口 誠(平成29.2.1)
川島松一(平成11.7.1)	長谷川 修(令和2.11.16)
片岡悦雄(平成14.6.20)	熊倉康浩(令和3.7.1)



(2列目左から) 中丸 栞 猪股彩美 山吉かりん 鈴木孝昌 阿部美奈子  
 (1列目左から) 主任 佐藤裕紀 係長 丸山美紀子 支店長 熊倉康浩 次長 小林素子 係長 小嶋謙太郎

## 温泉と竹の里 田上

田上町は、西側に信濃川、東側にあじさいが群生する護摩堂山があり、護摩堂山の中腹に越後平野を見下ろすように湯田上温泉があります。開湯は古く、効能の高さから「薬師の湯」として親しまれています。

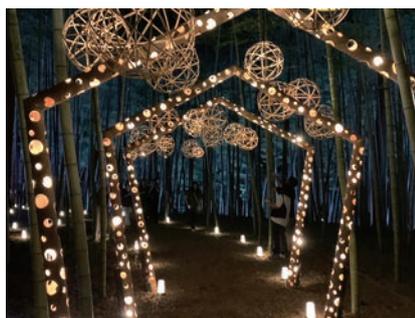
竹の名産地でもあり、竹の魅力発信と放置竹林等の問題解決のために始まった竹あかりアート「たがみバンブー」は、多くの観光客に人気です。



護摩堂山のあじさい



越後屈指の豪農の館「椿寿荘」



放置竹林を活用した竹あかりアート「たがみバンブー」



# 白根支店

(店番 009)

新潟県新潟市南区親和町3番5号  
☎025(373)6520



## ●歴代支店長

広瀬庄司 (平成 4.11.17)	昆布山正明 (平成 30.7.2)
梁取耕造 (平成 8.8.1)	加藤正和 (平成 30.9.10)
木津盛一 (平成 10.5.11)	長谷川 修 (令和 3.7.1)
大橋時雄 (平成 13.2.15)	山本晃市 (令和 4.10.12)
中村博和 (平成 16.2.10)	
竹内克巳 (平成 17.7.27)	
最上幸彦 (平成 21.2.6)	
神田 昭 (平成 24.7.19)	
最上幸彦 (平成 26.7.1)	

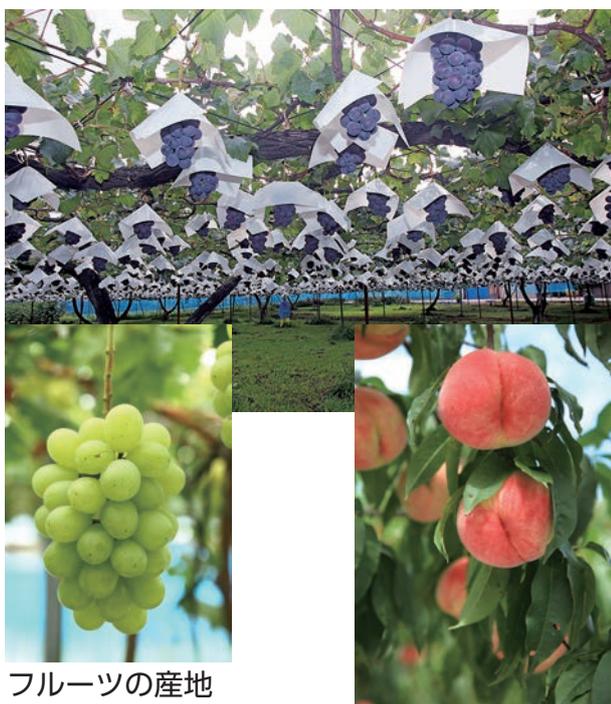


係長 中山和之 高橋早希  
 (2列目左から)  
 支店長代理 支店長 係長  
 (1列目左から) 坪谷佐智子 山本晃市 渡辺真依子

## 大凧と果物の産地 白根

新潟市南区（旧白根市）は、県下有数の果樹生産地域であるとともに、工業団地が進出する産業都市としても発展しており、伝統工芸品である白根仏壇も有名です。

また、300年の伝統を誇る「白根大凧合戦」は毎年初夏に繰り広げられ、大凧が絡み綱を引き合う瞬間は大迫力です。



フルーツの産地



300年の伝統を誇る白根大凧合戦

# 本部

## 総合企画部



課長代理 主任  
(2列目左から) 大野美奈 山崎南美 山谷麻衣  
課長 部長 副部長 課長代理  
(1列目左から) 夏目一寿 田邊和之 遠藤 暁 田沢勇太

## 総務部



主任  
(2列目左から) 保田 勉 林 康平 塩野 遥 帆苅 駿  
主任 課長 部長 課長  
(1列目左から) 中村美紀 石黒孝行 谷口 誠 西山奈津子

## 融資部



課長代理  
(2列目左から) 雙田尚耶 政金悠子  
課長 部長 課長  
(1列目左から) 佐藤俊哉 横山貴弘 最上幸彦

## 監査部・業務部



業務部 係長 業務部  
(2列目左から) 大橋和美 小柳佳月  
業務部長 監査部長 業務部 課長  
(1列目左から) 中林 渉 福原一芳 戸塚律子

## 旧上条支店 (現 上条出張所)



平成30年10月9日  
本店営業部へ統廃合

### ●歴代支店長

亀山 進一 (昭和 59.12.25)	杵 鞭 久 (平成 18.2.1)
佐藤 邦男 (昭和 63.2.10)	昆布山 正明 (平成 21.2.6)
加藤 正夫 (平成 2.2.1)	藤田 明 (平成 22.4.22)
吉沢 敏夫 (平成 5.2.1)	皆木 美奈子 (平成 24.7.13)
佐野 正人 (平成 7.2.6)	阿部 芳晴 (平成 25.6.28)
今泉 政夫 (平成 10.5.11)	星 和幸 (平成 26.7.1)
馬場 陽一 (平成 11.7.1)	谷口 誠 (平成 28.2.1)
竹内 克巳 (平成 14.2.18)	竹内 克巳 (平成 29.2.1)
藤田 明 (平成 16.2.10)	

## 旧北上支店



平成30年10月9日  
新津支店へ統廃合

### ●歴代支店長

高橋 隆男 (平成 3.3.10)	樋口 朗栄 (平成 15.10.10)
佐藤 邦男 (平成 4.3.10)	松尾 昌子 (平成 17.4.1)
木津 盛一 (平成 7.2.6)	中村 博和 (平成 19.4.1)
船木 博 (平成 8.2.15)	拜野 浩 (平成 22.2.16)
坂上 通男 (平成 9.2.1)	阿部 芳晴 (平成 22.6.30)
久保 康博 (平成 11.7.1)	田澤 正人 (平成 24.6.1)
片岡 悦雄 (平成 12.9.1)	小林 裕 (平成 26.7.1)
富井 秀男 (平成 14.6.20)	時田 秀行 (平成 29.2.1)

## 地域とともに歩む取り組み

- 加茂杉の子会（後援会）寄席…今年で55回目となる毎年恒例の後援会行事です



出演者と記念撮影



役職員も一緒にステージへ♪

- 地元祭りへの参加…地域のお祭りに参加しています



青海神社春季例大祭（加茂市）



越後加茂川夏祭り（加茂市）



日枝神社秋季例大祭  
（五泉市村松）

- 「カモナイトバザール」（加茂市のイベント）…本店3階大ホールをディスコ会場として提供しました



本店建物がライトアップ



ディスコ会場にミラーボール



職員もお手伝いしました

- 大関倶楽部（若手経営者の会）…企業視察・経営勉強会など年間を通して活動しています



企業視察



経営勉強会

●ロビー展…地域のみなさまの活動をロビーに飾らせていただきました



本店営業部（写真展・書道展）



田上支店（写真展）

●「たがみバンブー」(田上町) …放置竹林を活用した竹あかりのイベントボランティアに参加しました



田上支店職員が「たけのこ団員」として制作ボランティアに参加



田上支店長も大活躍



田上支店前にも飾られました

●「佐藤杯争奪町内一周駅伝競走大会」(田上町) …伝統ある駅伝大会に初めて出場しました



チームメンバー



力を合わせて見事ゴール!!

●新潟県しんきん個別商談会…お客さまのビジネスマッチングに取り組んでいます



●HPに新ページ開設…当金庫の取り組みをお知らせする専用ページを追加しました



【公式HP】



ぜひご覧ください！

# 社会貢献への取り組み

70周年記念

## ●特殊詐欺被害未然防止（田上支店）



## ●加茂山・加茂川一斉清掃



## ●通年ノーネクタイでの就業



## ●ビニール製から紙製の証書入れへ変更



## ●「こどものみらい古本募金」…読み終わった本を寄付すると、提携先の古本業者が査定・買取を行い、買取額が貧困の状況にある子供たちへ寄付されるプログラム



各営業店に回収ボックスを設置して…



2か月半の募集期間に218冊集まりました！

## ●「信用金庫の日」献血活動…毎年6月15日の信用金庫の日に合わせて献血を実施しています



## 人材育成

●職員総会…毎年、年度初めに全職員が集まって年間の表彰や一致団結をはかります



永年勤続者表彰



各種表彰



一致団結

●勉強会・研修等の実施



先輩職員・外部講師による新入職員研修



3金庫合同研修  
(新発田信金・村上信金と)



内部研修

## 部活動

●野球部



新潟県信用金庫野球大会 (5月)

●卓球部



新潟県信用金庫卓球大会 (10月)

# KAMO SHINKIN REPORT 2024

## 開示項目

このディスクロージャー資料は信用金庫法第89条(銀行法第21条準用)に基づいて作成されておりますが、その基準における各項目は以下のページに掲載しております。

### 1. 金庫の概況および組織に関する次に掲げる事項

(1) 事業の組織	24
(2) 理事及び監事の氏名及び役職名	24
(3) 会計監査人の名称	24
(4) 事務所の名称及び所在地	10

### 2. 金庫の主要な事業の内容

### 3. 金庫の主要な事業に関する事項として次に掲げるもの

(1) 直近の事業年度における事業の概況	29
(2) 直近の5事業年度における主要な事業の状況を示す指標として次に掲げる事項	
① 経常収益	39
② 経常利益又は経常損失	39
③ 当期純利益又は当期純損失	39
④ 出資総額及び出資総口数	39
⑤ 純資産額	39
⑥ 総資産額	39
⑦ 預金積金残高	39
⑧ 貸出金残高	39
⑨ 有価証券残高	39
⑩ 単体自己資本比率	39
⑪ 出資に対する配当金	39
⑫ 役員員数	39
(3) 直近の2事業年度における事業の状況を示す指標として次に掲げる事項	
① 主要な業務の状況を示す指標	
ア 資金運用収支、役員取引等収支及びその他業務収支	35
イ 業務粗利益及び業務粗利益率	35
ウ 業務純益	35
エ 資金運用勘定並びに資金調達勘定の平均残高、利息、利回り	35
オ 総資金利鞘	35
カ 受取利息及び支払利息の増減	35
キ 総資産経常利益率・総資産当期純利益率	35
② 預金に関する指標	
ア 流動性預金、定期性預金、譲渡性預金、その他の預金の平均残高	35
イ 固定金利定期預金、変動金利定期預金及びその他の区分ごとの定期預金の残高	35
③ 貸出金等に関する指標	
ア 手形貸付、証書貸付、当座貸越及び割引手形の平均残高	36
イ 固定金利及び変動金利の区分ごとの貸出金残高	36
ウ 担保の種類別の貸出金残高及び債務保証見返額	36
エ 用途別の貸出金残高	36
オ 業種別の貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合	36

カ 預貸率の期末値及び期中平均値	36
④ 有価証券に関する指標	
ア 商品有価証券の種類別の平均残高	37
イ 有価証券の種類別の期末残高	37
ウ 有価証券の種類別の平均残高	37
エ 有価証券の種類別の残存期間別の残高	37
オ 預証率の期末値及び期中平均値	37

### 4. 金庫の事業の運営に関する次に掲げる事項

① 法令遵守の体制	31
② リスク管理の体制	31
③ 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況	26・32
④ 金融ADR制度への対応	31

### 5. 金庫の直近の2事業年度における財産の状況に関する次に掲げる事項

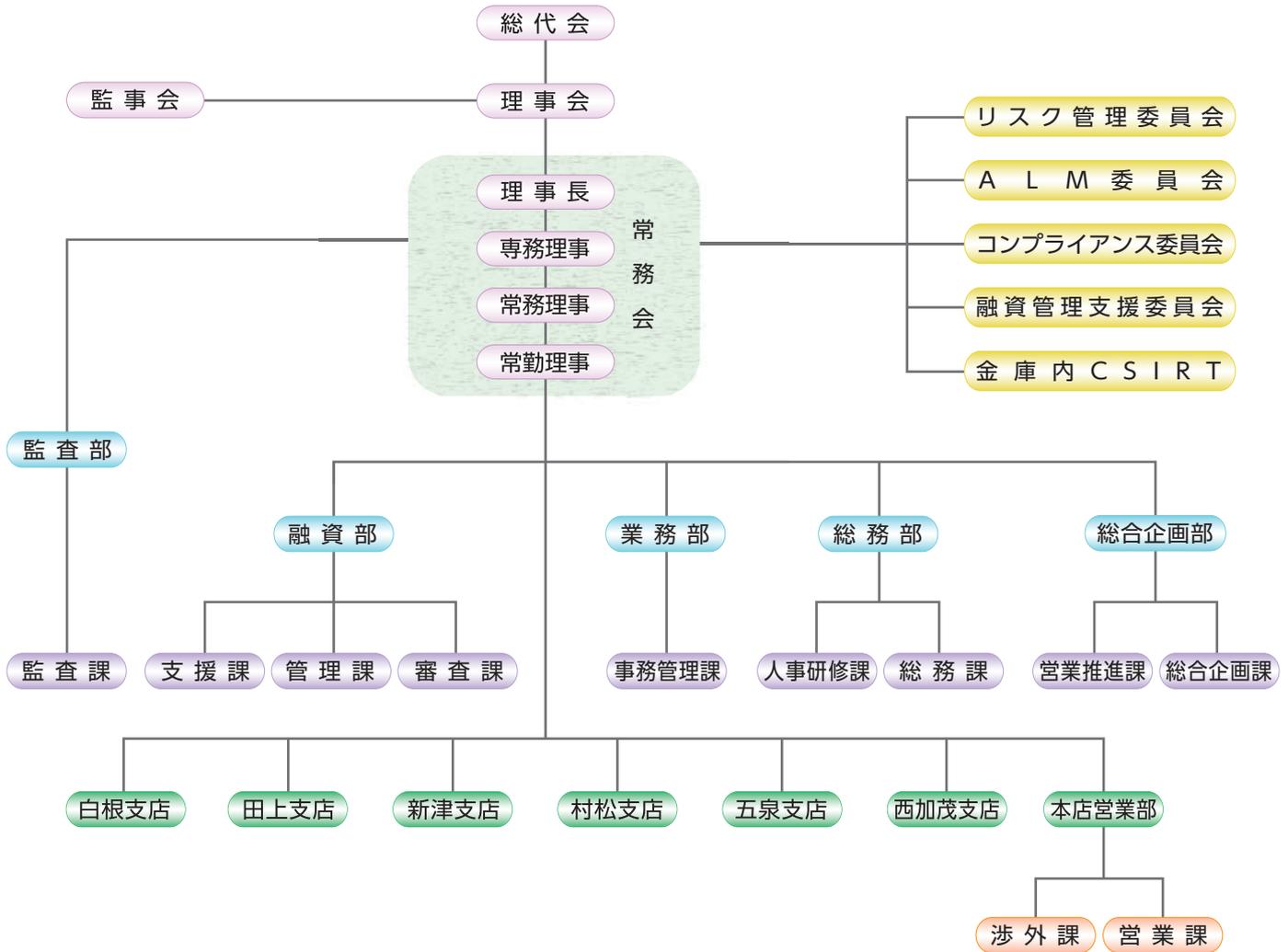
(1) 貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書又は損失金処理計算書	33・34
(2) 金庫の有する債権のうち次に掲げるものの額および①～④までにまでに掲げるものの合計額	
① 破産更生債権及びこれらに準ずる債権	40
② 危険債権	40
③ 三月以上延滞債権(貸出金のみ)	40
④ 貸出条件緩和債権(貸出金のみ)	40
⑤ 正常債権	40
※ 信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の記載例	40
(3) 自己資本の充実の状況について金融庁長官が別に定める事項	
① 定性的な開示事項	41
② 定量的な開示事項	42～45
(4) 次に掲げるものに関する取得価額又は契約価額、時価及び評価損益	
① 有価証券	38
② 金銭の信託	38
③ 第102条第1項第5号に掲げる取引	38
※ 金融商品の時価レベルごとの内訳等に関する事項	38
(5) 貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額	36
(6) 貸出金償却の額	36
(7) 金庫が法第30条の2第3項の規定に基づき貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書又は、損失金処理計算書について会計監査人の監査を受けている場合にはその旨	34

### 6. 報酬等に関する事項であって、金庫の業務の運営又は財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるもの

39

# 組織

(2024年6月末現在)



# 役員

(2024年6月末現在)

理事長 (代表理事)	杵鞭 久	非常勤理事	阿部 一郎 (※1)
専務理事 (代表理事)	田邊 和之	非常勤理事	樋口 俊 (※1)
常勤理事	福原 一芳	常勤監事	阿部 貴行
常勤理事	谷口 誠	非常勤監事	高橋 利明
非常勤理事	坂上 通男	非常勤監事	弦巻 博行 (※2)

※1 理事 阿部一郎、樋口 俊は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策等に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。

※2 監事 弦巻博行は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

# 会計監査人の名称

(2024年6月末現在)

高志監査法人

# 加茂信用金庫と地域社会

この街と生きて行く

## お客様

### 1. 預金に関する事項 (地域からの資金調達の状況)

当金庫では、お客様のニーズにお答えできる豊富な預金商品をご用意して、地域の皆様の着実な資産作りをお手伝いします。

また、大切な資産をより有利に幅広く、楽しみながら運用いただけるよう努力しています。

- ・元気100  
年金を受取っている方を対象に最高500万円まで金利を上乗せする定期預金です。
- ・ステップ5  
長期間預けるほど金利がアップ、6ヶ月経過すれば自由にお引き出し可能な半年複利の定期預金です。

**預金積金残高 [79,839百万円]**

会員数 8,336人  
出資金 313百万円

預金積金

出資金

### 2. 貸出金(運用)に関する事項 (地域への資金供給の状況)

① 預貸率 39.17%

② 貸出金残高 31,278百万円

・貸出金業種別残高

事業者…………… 13,952百万円

個人…………… 8,704百万円

地公体…………… 8,621百万円

・貸出金用途別残高

設備資金…………… 8,609百万円

うち住宅ローン…… 5,331百万円

運転資金…………… 22,668百万円

うち消費者ローン… 3,372百万円

③ 制度融資取扱状況

新潟県の中小企業支援のための経営安定資金、セーフティネット資金等や加茂市、五泉市、新潟市、田上町の各市町の制度融資も取扱っています。

また、当金庫独自の事業性融資や消費者ローンについても積極的に取扱いを行っています。

④ 融資商品

【個人向け資金】

- ・住宅ローン
- ・無担保住宅ローン
- ・カーライフプラン
- ・リフォームプラン
- ・教育プラン
- ・福祉プラン
- ・シニアライフローン
- ・個人・フリーローン
- ・教育カードローン
- ・カードローン
- ・災害復旧ローン

【事業性資金】

- ・割引手形
- ・手形貸付
- ・証書貸付
- ・当座貸越
- ・事業者カードローン
- ・大型ビジネスローン
- ・小規模企業者カードローン
- ・かもしん当貸  
ビジネスローン
- ・地域支援ローン
- ・かもしんきん経営安定化資金

## 加茂信用金庫

地域貢献の体制整備

(1) 店舗体制

7店舗で営業を行っています。  
(本店営業部・西加茂支店・五泉支店・村松支店・新津支店・田上支店・白根支店)

(2) 常勤役員職員数

89人

内訳 { 理事…………… 3人  
監事…………… 1人  
職員…………… 85人

※職員数にアルバイト・パートは含んでおりません。

貸出金

支援サービス

お客様(会員)

## 当金庫の地域経済活性化の取組みについて

当金庫は、新潟県のほぼ中央に位置している加茂市・五泉市・新潟市・田上町を主要エリアとし、7店舗で事業活動を行っており、地元の中小企業者や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展して行くことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客様からお預かりした大切な資金（預金・積金）は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の

繁栄のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業者や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機能の提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。

# 会 員

## 3.資金（貸出金を除く）の運用状況

有価証券残高	……28,498百万円
・ 国債	…… 2,074百万円
・ 地方債	…… 5,098百万円
・ 社債	……11,439百万円
・ 株式	…… 239百万円
・ 外国証券	…… 5,235百万円
・ その他の証券	…… 4,412百万円
預け金残高	……20,914百万円
預証率	…… 35.69%

## 4.文化的・社会貢献に関する事項

- 1.加茂市のシンボルである加茂山公園と加茂川の「市民一斉清掃」に大勢の職員で参加し、加茂市の美化に努めています。
- 2.「越後加茂川夏祭り」、「たがみBamBooBoo」などに職員が積極的に参加し、地元の皆様と共に各地の行事を盛り上げています。
- 3.毎年6月15日の「信用金庫の日」の社会貢献活動として、「愛の献血運動」を行っています。

今後、地域貢献活動について、会員や地元住民の皆さんはどんな活動を望んでいるのかなどを検討し、一層充実した地域貢献活動を行う方針です。

## 5.今期決算に関する事項

業績につきましては、滞留していたコロナ資金の落ち込みなどにより、預金の期末残高は79,839百万円で前期比1,366百万円の減少となり、期中平均残高も83,319百万円で前期比542百万円の減少となりました。

貸出金は、公金貸出の返済などにより期末残高は31,278百万円で前期比3,656百万円の減少となり、期中平均残高は34,485百万円で前期比1,251百万円の減少となりました。

収益状況につきましては、収入面では、年度当初からの預け金の運用強化により預け金利息は前期比37百万円増加したことにより、業務収益は前期比35百万円増加しました。支出面では、

評価損のでている投資信託のメンテナンス56百万円を実施したことから、本業の儲けを表す業務純益は111百万円、コア業務純益は164百万円を計上することができました。

臨時費用では、コロナ禍での取引先の信用力低下などによる信用コストの積み増しを実施し、経常利益は86百万円、当期純利益は82百万円の計上となりました。

また、自己資本比率は、前期比0.19%上昇し14.04%となりました。依然として高い水準を維持しており、このような高い自己資本比率を維持し続けておりますことは、地域の皆様からの高い信頼とご支援によるものと感謝申し上げます。

## 6.取引先への支援等

### ①顧客ネットワーク化の取組み

各地区後援会、かもしんきん大関俱樂部等により顧客ネットワーク化に積極的に取り組んでいます。

### ②経営改善支援先等への支援

融資部 審査課、管理課、支援課と営業店が一体となって、中小企業の支援・再生を積極的に行っています。今後も、企業の将来性、成長性を踏まえた事業性評価に基づき、経営改善のためのアドバイスや企業に役立つ支援を心がけ、積極的に経営改善のお手伝いを行ってまいります。

### ③創業・新事業への支援に向けた様々な取組み

地域産業の特性を再度認識し、情報収集により補助金、助成金に関するアドバイスを行いながら、地域活性化に役立つビジネスマッチングを提案し支援する方針です。地方公共団体の産業政策や商工会議所・商工会と連携をとりながら企業創業等の情報を収集し支援体制を整えています。

### ④経営相談業務の実施状況

現在、かもしんきん大関俱樂部で経営に関する講演会、企業視察を行っており、今後経営相談業務等の活動も実施して行く予定です。

### ⑤経営相談、地域の人づくり支援

上記④同様に、次世代を担う若手経営者・後継者の資質向上を目的とした「かもしんきん大関俱樂部」で講演会、企業視察等を行っています。

### ⑥取引先支援体制の整備

職員に対して、取引先の本業支援に向けた定期的なスキルアップ研修を実施しております。また、経営コンサルタント・外部専門家などの活用その他、村上・新発田・加茂の3金庫合同による研修会、意見交換会を実施するなど、取引先支援の体制整備を図っております。

# 信用金庫と総代会制度

信用金庫は会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人一人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員一人一人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業店までお寄せください。

## 総代とその選任方法、 総代選考基準

### ①総代の任期と定数

- ・総代の任期は2年です。
  - ・総代の定数は70人で、会員数に応じて各選任区域ごとに定められております。
- なお、2024年5月31日現在の総代数は70人で、会員数は8,328人です。

### ②総代の選任方法

- ・総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで、総代の選考は、総代候補者選考基準(注)に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。
- ①総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員を選任する。
  - ②選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。
  - ③上記②により選考された総代候補者を会員が信任する。(異議があれば申し立てる)

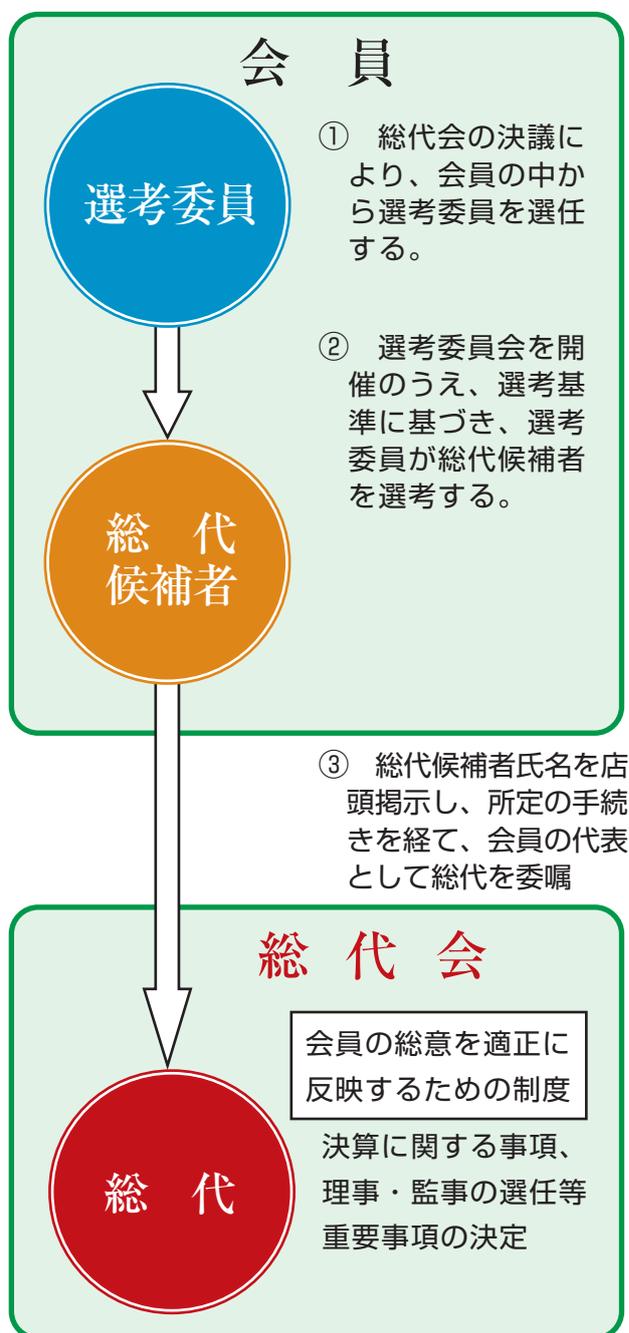
(注) 総代候補者選考基準

- ①資格要件
  - ・当金庫の会員であること。
- ②適格要件
  - ・総代としてふさわしい見識を有している方
  - ・良識をもって正しい判断ができる方
  - ・人格にすぐれ、金庫の理念・使命を十分理解している方
  - ・その他総代候補者選考委員が適格と認めた方



## 会員と総代、総代会の関係

総代会は、会員一人一人の意見を適正に反映するための開かれた制度です。



## 第71回通常総代会の決議事項

第71回通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案どおり承認されました。

### 報告事項

- (1) 第70期（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）  
業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

### 決議事項

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件  
第2号議案 理事7名選任の件  
第3号議案 監事3名選任の件



## 総代の氏名

(2024年5月31日現在 敬称略)

※氏名の後の数字は総代への就任回数

### ① 加茂・田上地区（34名）

阿部 悟④ 有本照一① 安中 淳⑦  
飯岡英雄① 小野喜平⑪ 小柳英治⑧  
川崎 晃⑰ 北澤孝史③ 木戸信輔④  
熊倉勝昌⑧ 小池俊木③ 牛腸 誠⑬  
小林正則④ 小日向正巳⑭ 坂上佐保次④  
佐藤晃一① 佐野清一⑤ 志田知弘④  
志田長春③ 関 英男⑥ 高野泰雄⑪  
高橋宏明⑨ 瀧澤勝也④ 田邊良夫⑭  
鶴巻恵一郎⑪ 中居 孝⑦ 永井 仁③  
中野壽夫⑥ 中林功一⑧ 西村道博⑬  
野澤幸司⑨ 丸山勝朗⑪ 山田昭吉①  
吉田光孝①

### ② 五泉地区（23名）

五十嵐良平③ 石本武臣⑤ 井上啓吉①  
加藤勝則⑮ 加納一生① 川口幸平⑨  
神田耕一⑥ 木村一雄② 樽井正明⑥  
小林 誠③ 近藤伸一⑭ 斎藤 正④  
齋藤廣文④ 茂野一弘④ 舎川一哉⑥  
高岡信夫⑧ 瀧澤 修⑥ 田中 守④  
寺久保重雄④ 樋口 大③ 深井一美⑩  
布施政樹⑤ 藤木俊則⑦

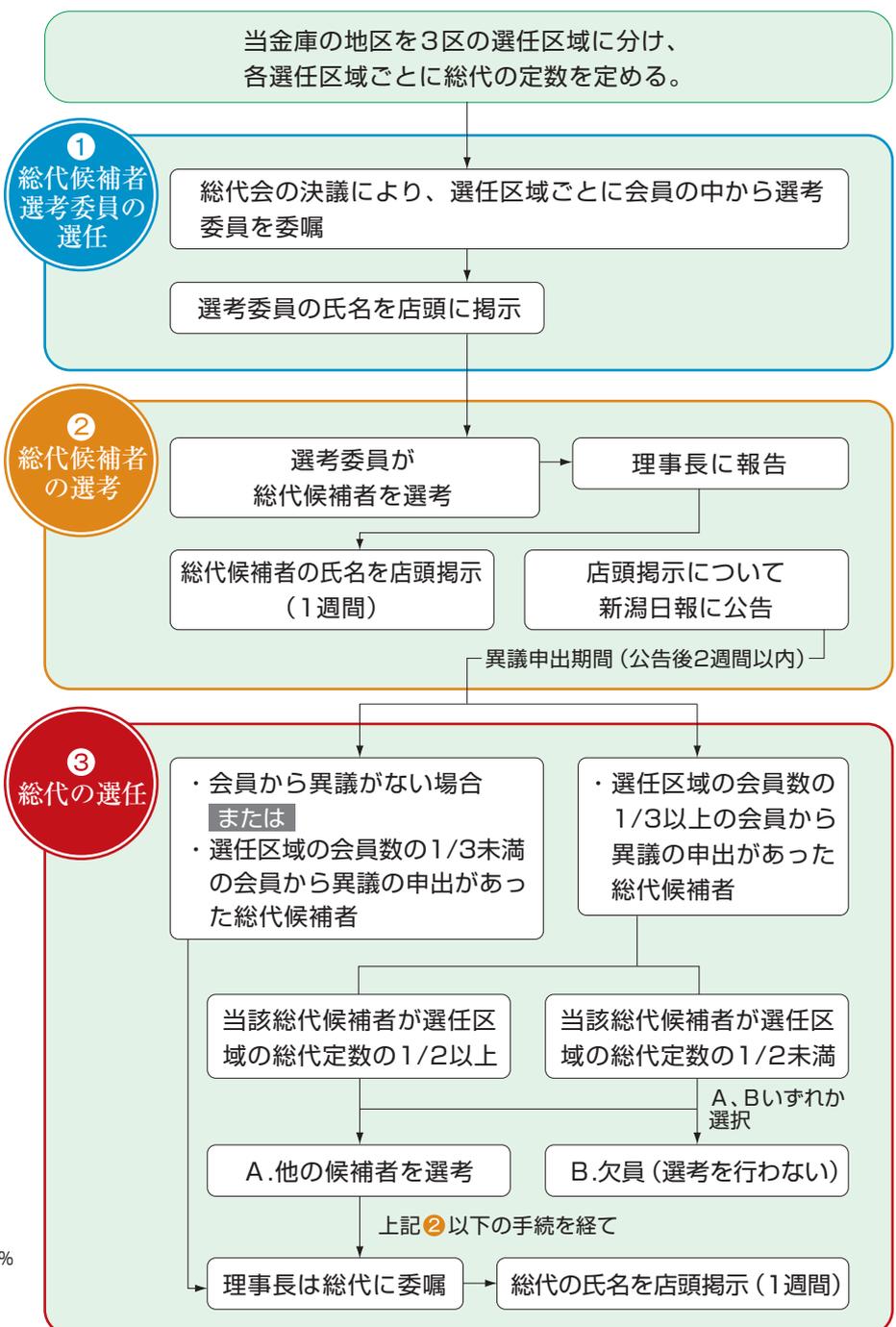
### ③ 新潟地区（13名）

井浦隆成① 五十嵐 晃③ 五十嵐一英⑥  
石倉雅実③ 押味弘一⑬ 小柳政利①  
高木忠明⑭ 田村一雄① 長谷川増一③  
帆苅正明⑫ 涌井英夫⑥ 渡邊和男①  
渡邊浩和④

#### 総代の属性別構成比

- ① 職業別 法人役員 90%、個人事業主 9%、個人 1%  
② 年代別 70代以上 44%、60代 26%、50代 23%、40代 7%  
③ 業種別 建設業 30%、製造業 27%、卸・小売業 20%  
その他のサービス業 13%、医療・福祉 3%  
飲食業 3%、その他 3%、不動産 1%

## 総代選任手続き



# 2023年度における事業概要

## ① 事業方針

当金庫は、創業以来、地元企業と地域住民のための親しみのある「地域金融機関」として、「地域社会の発展と豊かな暮らしの実現」を経営理念に、堅実経営に徹するとともに、地元ファースト・地元との運命共同体として、お客様から信頼され、お客様の期待にお応えできるような信用金庫を目指しております。

## ② 金融経済環境

わが国経済は、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られるなど、ゆるやかな回復基調にあります。一方で、日本銀行をはじめとした各国中央銀行による金融政策の動向や、地政学リスクの高まりなど、国内外に散在するリスク要因により、その先行きは、不透明感の強い状況となっております。

また、信用金庫の営業基盤である地域経済に目を向けますと、人口減少や高齢化の進展といった従来からの構造的な問題に加え、ゼロゼロ融資の返済本格化や深刻な人手不足への対応、さらには脱炭素化の実現に向けた取り組みなど、対処すべき課題が山積しており、依然として厳しい状況が続いているなど地域経済の抱える課題が高度化・複雑化するなか、果たすべき役割の多様化が進んでおります。

こうした課題に対処し、地域経済の持続可能性を高めていくためにも、限られた業務効率化に取り組んでいくことが、これまで以上に重要となっております。

## ③ 業績

業績につきましては、滞留していたコロナ資金の落ち込みなどにより、預金の期末残高は79,839百万円で前期比1,366百万円の減少となり、期中平均残高も83,319百万円で前期比542百万円の減少となりました。

貸出金は、公金貸出の返済などにより期末残高は31,278百万円で前期比3,656百万円の減少となり、期中平均残高は34,485百万円で前期比1,251百万円の減少となりました。

収益状況につきまして、収入面では、年度当初からの預け金の運用強化により預け金利息は前期比37百万円増加したことにより、業務収益は前期比35百万円増加しました。支出面では、評価損のदैている投資信託のメンテナンス56百万円を実施したことから、本業の儲けを表す業務純益は111百万円、コア業務純益は164百万円を計上することができました。

臨時費用では、コロナ禍での取引先の信用力低下などによる信用コストの積み増しを実施し、経常利益は86百万円、当期純利益は82百万円の計上となりました。

また、自己資本比率は、前期比0.19%上昇し14.04%となりました。

## ④ 今後の展望

国内外の政治経済情勢が複雑に絡み合う状況下において、信用金庫は、取引先中小企業が経営環境の変化に的確に対応できるよう、今後も変わらず課題解決に取り組み、地域社会・経済の持続的な発展に向けて、その役割をこれまで以上に発揮していくことが期待され、求められております。

信用金庫や地域経済を取り巻く環境は著しく変化しており、まさに、激動の時代ともいえる局面を迎えております。

当金庫が地域からの期待に応え、地域とともに発展を続けるためには、「地域の、地域による、地域のための金融機関」である信用金庫として、この難局を乗り越えるべく、不断のチャレンジ精神のもと、全力で努力を重ねる所存でございますので、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## ⑤ 2023年度の主な出来事

- 2023.06.16 第70回通常総代会を開催
- 2023.09.15 SDGsの取組みの一環として「こどものみらい古本募金」を実施し、地域のみなさまや役員から寄付された書籍を古本販売業者に送付、買取額が「こどもの未来応援基金」に寄付される
- 2023.09.16 田上町商工会青年部中心となり、竹の活用に取り組む「たがみ BamBoo Boo」に田上支店職員が参加
- 2023.10.26 SDGsの取組みの一環として「フードドライブ」を実施し、役員員の家庭から集めた食品や日用品を「フードバンクかも・たがみ」へ寄付
- 2023.12.08 新発田信金・村上信金・当金庫の3金庫合同で研修会を開催
- 2024.03.12 SDGsの取組みの一環として「フードドライブ」を実施し、役員員の家庭から集めた食品や日用品を「フードバンクごせん」へ寄付
- 2024.03.22 当金庫創立70周年記念特別定期預金「にじ」を発売
- 2024.03.23 創立70周年事業の一環として、田上町で開催された「ミニバスケットボール大会」へ協賛

# 主要な事業の内容

## 預金業務

お客様の大切なお金をお預りする「かもしんきん」の大切な業務です。

### ① 預金および定期積金

当座預金・普通預金・決済用普通預金・貯蓄預金・通知預金・定期預金・定期積金・納税準備預金等を取扱っております。

### ② 譲渡性預金

## 貸出業務

地元事業者の皆様や個人の皆様の資金ニーズにお応えできる数多くのメニューを用意し、スピーディーに対応しております。

### ① 貸付……手形貸付・証書貸付・当座貸越

### ② 手形の割引……商業手形の割引

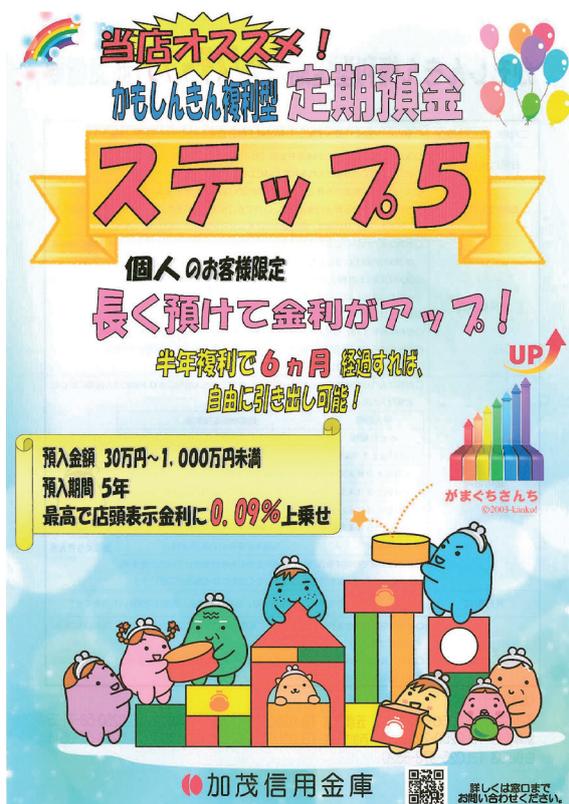
## 内国為替業務

振込や、手形・小切手などの代金取立業務等を取扱っております。

## その他の業務・サービス

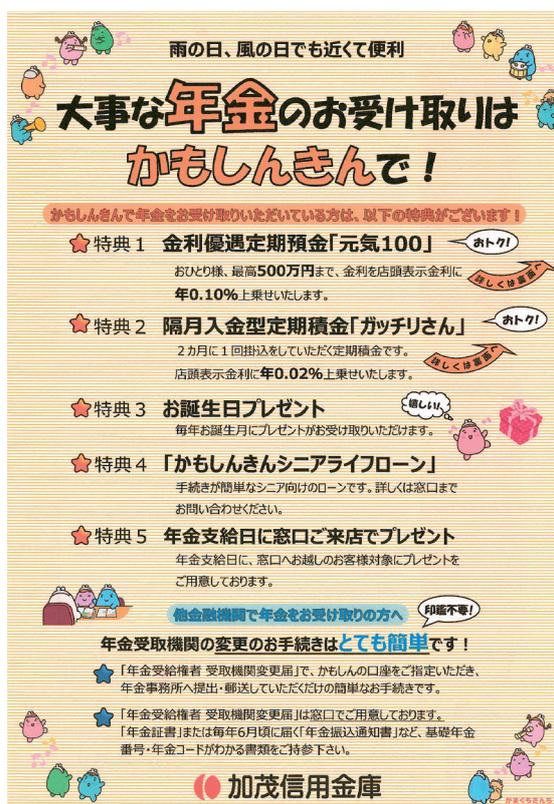
お客様の多様なニーズにお応えできるよう、さまざまな業務、サービスに取り組んでおります。

- |                                 |   |
|---------------------------------|---|
| ① 債務の保証、私募債の発行                  | ⑤ スポーツくじ[toto]払戻業務(サッカーくじ)                  |
| ② 代理業務                          | ⑥ ファームバンキングサービス                             |
| ・日本銀行歳入代理店業務(国庫金収納業務)           | ⑦ テレフォンバンキングサービス                            |
| ・地方公共団体の公金取扱業務<br>(指定代理、収納代理業務) | ⑧ インターネットバンキングサービス                          |
| ・(株)日本政策金融公庫                    | ⑨ でんさいネットサービス                               |
| ・信金中央金庫                         | ⑩ マルチペイメントサービス                              |
| ・(独)住宅金融支援機構                    | ⑪ 年金や給与の自動受取サービス                            |
| ・(一社)しんきん保証基金                   | ⑫ 公共料金やクレジットなどの自動振替サービス                     |
| ・(独)勤労者退職金共済機構                  | ⑬ デビットカードサービス                               |
| ・(独)中小企業基盤整備機構 等                | ⑭ 保険商品の募集(火災保険、傷害保険、個人<br>年金保険、学資保険、終身保険 等) |
| ③ 保護預りおよび貸金庫業務                  | ⑮ メルペイ口座振替サービス                              |
| ④ 国債等公共債の窓口販売                   | ⑯ 通帳アプリ                                     |



**当店オススメ!**  
かもしんきん特別 定期預金  
**ステップ5**  
個人のお客様限定  
長く預けて金利がアップ!  
半年毎利で6ヵ月経過すれば、  
自由に引き出し可能!  
UP  
預入金額 30万円~1,000万円未満  
預入期間 5年  
最高で店頭表示金利に0.09%上乗せ  
がまぐちさんち  
©2013 Bank of Kamigata

加茂信用金庫



雨の日、風の日でも近くて便利  
大事な年金のお受け取りは  
かもしんきんで!  
かもしんきんで年金をお受け取りいただいている方は、以下の特典がございます!  
★特典1 金利優遇定期預金「元気100」  
おひとり様、最高500万円まで、金利を店頭表示金利に年0.10%上乗せいたします。  
★特典2 隔月入金型定期積金「ガッチリさん」  
2か月に1回掛入をさせていただく定期積金です。店頭表示金利に年0.02%上乗せいたします。  
★特典3 お誕生日プレゼント  
毎年お誕生日月にプレゼントがお受け取りいただけます。  
★特典4 「かもしんきんシニアライフローン」  
手続きが簡単なシニア向けのローンです。詳しくは窓口までお問い合わせください。  
★特典5 年金支給日に窓口来店でプレゼント  
年金支給日に、窓口へお越しのお客様対象にプレゼントをご用意しております。  
他金融機関で年金をお受け取りの方へ  
年金受取機関の変更のお手続きは**とても簡単**です!  
★「年金受給権者 受取機関変更届」で、かもしんの口座をご指定いただき、年金事務所へ提出・郵送していただくだけの簡単なお手続きです。  
★「年金受給権者 受取機関変更届」は窓口でご用意しております。  
「年金証書」または毎年6月頃に届く「年金振込通知書」など、基礎年金番号・年金コードがわかる書類をご持参下さい。  
加茂信用金庫

# 金庫の事業の運営に関する事項

## 〈法令等遵守〉

信用金庫は信用金庫法をはじめ、各種法令等の適用を受けております。地域とともに歩む金融機関として、地域に真に信頼されるためには、法令等に基づく各種ルール、さらには社会的規範を遵守することは当然の責務です。当金庫では、法令等の遵守態勢を確立するために、コンプライアンス委員会を設置するとともに、役職員が遵法精神を十分に理解し、自覚するために「コンプライアンスマニュアル」および「加茂信用金庫の行動基準」を全役職員に配布し、日頃よりその周知徹底を図っております。また半期毎に各自コンプライアンス・チェックリストにより自己判定を行っております。

## 〈リスク管理〉

金融自由化、グローバル化の進展に伴い、金融機関の業務はますます多様化し、各リスクは拡大してきています。金融機関にとっては、まさに経営の自己責任を問われる時代であり、自己責任原則に基づく健全経営が強く求められております。こうしたなか、当金庫は金融環境の変化に対応できるリスク管理体制の構築を強化し、経営の健全化と体質強化に努めております。

### ◆ 信用リスク管理

信用リスクとは、企業や個人への貸出が回収不能または利息の収入が不能になるリスクのことです。当金庫では、貸出資産の健全性を維持するため、業務の推進部門とは別組織として融資審査部門を設置し、厳格な審査体制をとっております。特に貸出運営にあたっては融資構造が特定の業種に偏重しないよう、自主的に内部規制を設け融資バランスに充分配慮しているほか、小口多数主義を原則にリスクの分散を図っております。また、融資審査能力の向上を図るため、積極的に外部研修への派遣、内部研修等を実施し、融資に強い人材の育成に努めております。

### ◆ 市場リスク管理

資産（貸出、有価証券等）・負債（預金等）双方の金利変動に伴う「金利リスク」、株式や債券などの価格変動をもたらす「価格変動リスク」などに対応するため、当金庫では資産に潜在するリスクを分散し、経営の安定を維持するために資産に運用できる上限または下限を規程に定めて運用を管理するなど、健全経営に努力しております。

### ◆ 流動性リスク管理

流動性リスクとは、予期しない大量の資金流出等により資金の調達と運用のバランスが崩れた際などに、資金繰りが難しくなるリスクのことです。当金庫では、常に調達と運用の管理を行うとともに、適正な支払準備資金を確保して不測の事態に備えております。

### ◆ 事務リスク管理

事務リスクとは、事務上のミスや不正により損失を受けるリスクのことです。当金庫では、監査部が営業店に対して事故の未然防止と事務管理の厳正化の視点から、予告なしの臨店監査を実施する一方、営業店には自店検査の月例実施を義務づけております。また、事務管理課では臨店による事務指導を実施しているほか、日常の事務ミス防止のための内部規程を整備するなど、事故防止と事務精度の向上に万全を期しております。

### ◆ システムリスク管理

システムリスクとは、電算システムの障害・誤作動や、不正行為により金融機関が損失を受けることです。当金庫の電算システムの運用・管理は一般社団法人しんきん共同センターが行っており、同センターは災害時の対策として万全なバックアップ体制を整備しております。また、当金庫は「コンティンジェンシープラン」の策定により障害時等にも万全な体制を確立しております。

## 〈マネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融対策〉

当金庫は、マネー・ローンダリング・テロ資金供与・拡散金融の防止に向けた対策を経営上の重要な課題の一つとして位置付け、総合企画部を統括部署、総合企画部統括役員を責任者として定めるとともに、当金庫が直面するリスクを適切に評価し、リスクに応じた対策を実施しています。

## 金融ADR制度への対応

### 苦情処理措置

当金庫は、お客様からの苦情のお申し出に公正かつ的確に対応するため、苦情お申し出受付窓口を監査部としており、受付電話番号をホームページに公表しております。

苦情は、当金庫営業日（9時～17時）に営業店（電話番号は10ページ参照）または監査部（電話：0256-53-2284）にお申し出ください。

### 紛争解決措置

当金庫は、紛争解決のため、当金庫営業日に上記監査部または全国しんきん相談所（9時～17時、電話：03-3517-5825）にお申し出があれば、東京弁護士会（電話：03-3581-0031）、第一東京弁護士会（電話：03-3595-8588）、第二東京弁護士会（電話：03-3581-2249）の仲裁センター等や、新潟弁護士会示談あっせんセンター（電話：025-222-5533）にお取次ぎいたします。また、お客様から各弁護士会に直接お申し出いただくことも可能です。なお、前記弁護士会の仲裁センター等は、東京都以外の各地のお客様もご利用いただけます。その際には、お客様のアクセスに便利な東京以外の弁護士会をご利用する方法もあります。例えば、東京以外の弁護士会において東京の弁護士会とテレビ会議システム等を用いる方法（現地調停）や、東京以外の弁護士会に案件を移す方法（移管調停）があります。ご利用いただける弁護士会については、あらかじめ前記「東京弁護士会、第一東京弁護士会、第二東京弁護士会、全国しんきん相談所または当金庫監査部」にお尋ねください。

## 勧誘方針

当金庫は、「金融商品の販売等に関する法律」に基づき、金融商品の販売等に際しては、次の事項を遵守し、勧誘の適正の確保を図ることとします。

- 1 当金庫は、お客さまの資産運用目的、知識、経験および財産の状況に照らして、適正な情報の提供と商品説明をいたします。
- 2 商品の選択・購入は、お客様ご自身の判断によってお決めいただきます。その際、当金庫は、お客様に適正な判断をしていただくために、当該商品の重要事項について説明をいたします。
- 3 当金庫は、誠実・公正な勧誘を心掛け、お客さまに対し事実と異なる説明をしたり、誤解を招くことのないよう、研修等を通じて役職員の知識の向上に努めます。
- 4 当金庫は、お客様にとって不都合な時間帯や迷惑な場所での勧誘は行いません。
- 5 金融商品の販売等に係る勧誘についてご意見やお気づきの点等がございましたら、お近くの窓口までお問い合わせください。

## 中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

加茂信用金庫は、地域の中小企業および個人のお客様に必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、以下の方針に基づき、地域金融の円滑化に全力を傾注して取組んでまいります。

### ① 中小企業の本業支援に関する取組方針

地域の中小企業および個人のお客様への安定した資金供給は、事業地域が限定された協同組織金融機関である信用金庫にとって、最も重要な社会的使命です。

- (1) お客様からの新規借入や借入条件変更等への適切な対応  
お客様からの資金供給や借入条件の変更等のお申込みがあった場合には、これまでと同様、お客様の抱えている問題を十分に把握したうえで、その解決に向けて真摯に取組みます。
- (2) コンサルティング機能の発揮  
中小企業のお客様の経営課題の把握・分析と主体的な取組みを促すための助言をし、経営課題を解決するための具体的な改善策の提案およびこれに基づく経営改善計画の策定支援を行ってまいります。

### ② 中小企業の本業支援に関する態勢整備

- お客様の事業価値を見極める「事業性評価」能力を向上させるための研修の実施
- 取引先の本業支援（創業支援、事業改善・事業再生支援、事業承継支援等）のための定期的なスキルアップ研修の実施
- 外部機関や地元土業者等を含めた外部専門家や他の金融機関等と緊密な連携を図る
- 事業の再生や地域経済の活性化に資する事業活動を支援するにあたって、各地域プラットフォームを構築し、緊密な連携を図る

### ③ 中小企業の本業支援に関する取組状況

- 本業支援（創業、事業改善・再生、承継）にかかわる外部機関による職員向け集合研修を実施（2023年度 3回）
- 中小企業の経営支援については、経営改善計画書作成の支援および課題解決に向けた金融支援を実施
  - ・集中的なコンサル支援の実施（2023年度 16先）
  - ・経営改善計画策定支援の実施（2023年度 17先）
- 新潟県中小企業活性化協議会の活用（2024年3月末現在 7社活用）
- 外部専門家、経営コンサルタントの活用（2024年3月末現在 14社活用）
- 取引先の経営課題の解決を目的としたビジネスマッチング事例（2024年3月末現在 2件）
  - ・取引先（飲食業）の販路開拓を目的とした新事業に対するビジネスマッチングを通じたスタートアップ支援
  - ・地元大学の学生寮建設に対する計画のブラッシュアップ支援及び取引先建設業者とのビジネスマッチング支援
- 地元大学である「新潟経営大学」との包括連携協定に基づき、地域企業の経営課題の解決に向けた産学官連携の実践を目的とした取組を実践しており、地域人材の育成を目的とした「新潟県央地域・未来人材育成コンソーシアム」に連携機関として参加しております。
- 当金庫の本業支援事例が（一社）全国信用金庫協会が作成する「信用金庫における地域密着型金融への取組み事例集（2022年度）」に掲載されました。（同協会ホームページをご参照ください）



ビジネスマッチングを通じたスタートアップ支援



「かもしんきん大関倶楽部」経営勉強会



「加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム準備協議会」ワーキンググループ会議

### ④ 地域の活性化に関する取組状況

- 地元商工会議所や商店街と連携による地域活性化の取組みとして、各種会合に当金庫役職員が積極的に参加し、情報交換を行うとともに、地元金融機関との信頼関係構築と地域密着の強化を図っています。
- 取引先の事業後継者の育成・支援のため、若手経営者や事業後継者を対象とした「かもしんきん大関倶楽部」を組織運営し、企業視察や講演会、異業種交流の活動を通じて経営者としての資質向上と事業後継者の育成支援を図っています。
- 加茂市が総合計画にて掲げる賑わいと活力の創出を目指し、多様な主体が同じ方向でまちづくりを進めるため「加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム準備協議会」を立ち上げ、当金庫もそこへ参画し、「未来ビジョン」策定に向けた会議等へ理事長はじめ役職員が参加しております。
- 信金中央金庫が実施した、創立70周年記念事業の企業版ふるさと納税を活用した地域創生スキーム「SCBふるさと応援団」に、当金庫が加茂市の「加茂七谷温泉美人の湯アウトドア事業」を推薦し、信金中央金庫の審査を経て、加茂市へ1千万円が寄附され、新潟経営大学を含めた「産・学・官・金」連携による地域活性化事業に取組んでおります。



「美人の湯アウトドア事業」学生達による集客案報告会



「美人の湯アウトドア事業」バーベキュースペース

## 経営者保証に関するガイドラインの活用状況等

### ○ 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客様からお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客様との丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

※「経営者保証に関する取組方針」については、令和5年9月1日付で当金庫ホームページにて公表しております。

	2023年度
新規に無保証で融資した件数	698件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	70.2%
保証契約を解除した件数	10件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当金庫をメイン金融機関として実施したものに限定)	0件

# 2023年度決算状況

## 貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	2023年3月31日	2024年3月31日
(資産の部)		
現金	998	1,150
預 け 金	17,466	20,914
有 価 証 券	29,731	28,498
国 債	2,190	2,074
地 方 債	5,842	5,098
社 債	11,739	11,439
株 式	270	239
その他の証券	9,688	9,647
貸 出 金	34,935	31,278
割 引 手 形	254	290
手 形 貸 付	1,230	967
証 書 貸 付	30,419	26,715
当 座 貸 越	3,031	3,305
そ の 他 資 産	512	648
未 決 済 為 替 貸	4	14
信 金 中 金 出 資 金	376	496
前 払 費 用	3	3
未 収 収 益	70	76
そ の 他 の 資 産	58	58
有 形 固 定 資 産	574	570
建 物	89	84
土 地	423	423
リ ー ス 資 産	39	27
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	21	34
無 形 固 定 資 産	9	9
ソ フ ト ウ ェ ア	0	0
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	8	8
前 払 年 金 費 用	0	29
債 務 保 証 見 返	15	15
貸 倒 引 当 金 △	302	327
(うち一般貸倒引当金)	16	314
(うち個別貸倒引当金)	286	12
資 産 の 部 合 計	83,942	82,787

(単位:百万円)

科 目	2023年3月31日	2024年3月31日
(負債の部)		
預 金 積 金	81,206	79,839
当 座 預 金	920	1,039
普 通 預 金	30,040	30,254
貯 蓄 預 金	183	164
通 知 預 金	56	68
定 期 預 金	45,550	44,135
定 期 積 金	3,452	3,247
そ の 他 の 預 金	1,002	929
そ の 他 負 債	158	140
未 決 済 為 替 借	27	29
未 払 費 用	38	43
給 付 補 填 備 金	0	0
未 払 法 人 税 等	0	0
前 受 収 益	19	12
リ ー ス 債 務	43	30
資 産 除 去 債 務	5	5
そ の 他 の 負 債	22	17
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	14	19
偶 発 損 失 引 当 金	2	7
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	1	1
繰 延 税 金 負 債	-	3
債 務 保 証	15	15
負 債 の 部 合 計	81,399	80,027
(純資産の部)		
出 資 金	313	313
普 通 出 資 金	313	313
利 益 剰 余 金	3,399	3,475
利 益 準 備 金	312	313
そ の 他 利 益 剰 余 金	3,086	3,162
特 別 積 立 金	3,000	3,000
当 期 未 処 分 剰 余 金 (又は当期未処理損失金)	86	162
処 分 未 済 持 分	-	△0
会 員 勘 定 合 計	3,712	3,788
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△1,169	△1,028
純 資 産 の 部 合 計	2,542	2,759
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	83,942	82,787

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。



## 損益計算書

(単位:千円)

科 目	自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日	自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日
経 常 収 益	1,046,717	1,069,202
資金運用収益	913,142	972,797
貸出金利息	584,712	603,591
預け金利息	22,294	59,944
有価証券利息配当金	296,796	299,921
その他の受入利息	9,339	9,339
役務取引等収益	58,190	63,515
受入為替手数料	23,992	23,729
その他の役務収益	34,198	39,786
その他業務収益	34,799	5,205
国債等債券売却益	30,721	-
その他の業務収益	4,077	5,205
その他経常収益	40,585	27,684
償却債権取立益	791	2,238
株式等売却益	39,487	25,444
その他の経常収益	306	1
経 常 費 用	1,002,872	982,427
資金調達費用	14,316	14,254
預金利息	14,001	13,840
給付補填備金繰入額	314	414
役務取引等費用	88,744	98,850
支払為替手数料	7,569	6,823
その他の役務費用	81,175	92,026
その他業務費用	23,753	56,402
国債等債券償還損	23,560	56,200
国債等債券売却損	185	201
その他の業務費用	8	1
経 費	781,550	768,224
人 件 費	527,562	498,550
物 件 費	225,456	243,829
税 金	28,531	25,845
その他経常費用	94,507	44,694
貸倒引当金繰入額	59,032	32,630
貸出金償却	2,105	-
株式等売却損	32,481	4,127
その他の経常費用	888	7,936
経常利益(又は経常損失)	43,844	86,775
特 別 損 失	0	3
固定資産処分損	0	3
税引前当期純利益(又は税引前当期純損失)	43,844	86,771
法人税・住民税及び事業税	930	930
法人税等調整額	-	3,304
法人税等合計	930	4,234
当期純利益(又は当期純損失)	42,914	82,536
繰越金(当期首残高)	43,892	80,016
当期末処分剰余金(又は当期末処理損失金)	86,807	162,552

## 剰余金処分計算書

(単位:千円)

科 目	自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日	自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日
当期末処分剰余金(又は当期末処理損失金)	86,807	162,552
繰越金(当期首残高)	43,892	80,016
当期純利益(又は当期純損失)	42,914	82,536
合 計	86,807	162,552

### ▼ これを下記のように処分します

(単位:千円)

科 目	自 2022年4月 1日 至 2023年3月31日	自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日
剰 余 金 処 分 額	6,791	106,295
利 益 準 備 金	535	34
普通出資に対する配当金 (年2%の割合)	6,256	6,261
特 別 積 立 金	-	100,000
繰越金(当期末残高)	80,016	56,256

(注)

- 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- 出資1口当たり当期純利益金額 263円61銭

## 会計監査人による監査

2024年6月20日開催の第71回通常総代会で報告を行った貸借対照表、損益計算書および承認を得た剰余金処分計算書は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、高志監査法人の監査を受けております。

2023年度における貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分計算書(以下、「財務諸表」という。)並びに財務諸表作成に係る内部監査等について適正性・有効性等を確認しております。  
2024年6月21日

加茂信用金庫  
理 事 長 杵 鞭 久

# 主要な業務の状況を示す指標

## 業務粗利益

科 目	(単位:千円・%)	
	2022年度	2023年度
資金運用収支	898,826	958,542
資金運用収益	913,142	972,797
資金調達費用	14,316	14,254
役員取引等収支	△30,554	△35,334
役員取引等収益	58,190	63,515
役員取引等費用	88,744	98,850
その他業務収支	11,046	△51,197
その他業務収益	34,799	5,205
その他業務費用	23,753	56,402
業務粗利益	879,317	872,010
業務粗利益率	1.01	1.01

(注) 1. 「資金調達費用」は金銭の信託運用見合費用を控除して表示しております。但し、2022年度、2023年度の金銭の信託運用見合費用はございません。  
2. 業務粗利益率 = 業務粗利益 / 資金運用勘定平均残高 × 100

## 業務純益

科 目	(単位:千円)	
	2022年度	2023年度
業務純益	135,991	111,976
実質業務純益	104,216	108,435
コア業務純益	97,240	164,836
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)	97,640	166,636

(注) 1. 業務純益 = 業務収益 - (業務費用 - 金銭の信託運用見合費用)  
業務費用には、例えば人件費のうちの役員賞与等のような臨時的な経費等を含まないこととしています。  
また、貸倒引当金繰入額が全体として繰入超過の場合、一般貸倒引当金繰入額(または取崩額)を含みます。  
2. 実質業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額  
実質業務純益は、業務純益から、一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。  
3. コア業務純益 = 実質業務純益 - 国債等債券損益  
国債等債券損益は、国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却を通算した損益です。

## 資金運用収支の内訳

科 目	(単位:平均残高 百万円、利息 千円、利回り %)					
	2022年度			2023年度		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
資金運用勘定	86,470	913,142	1.05	85,534	972,797	1.13
うち貸出金	35,736	584,712	1.63	34,485	603,591	1.75
うち預け金	18,845	22,294	0.11	20,801	59,944	0.28
うち有価証券	31,511	296,796	0.94	30,248	299,921	0.99
資金調達勘定	83,861	14,316	0.01	83,319	14,254	0.01
うち預金積金	83,861	14,316	0.01	83,391	14,254	0.01
うち借入金	-	-	-	-	-	-

(注) 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高及び利息をそれぞれ控除して表示しております。但し、2022年度、2023年度の無利息預け金及び金銭の信託運用見合額、同利息はございません。

## 利 鞘

科 目	(単位:%)	
	2022年度	2023年度
資金運用利回	1.05	1.13
資金調達原価率	0.94	0.93
総資金利鞘	0.11	0.20

## 総資産経常利益率・総資産当期純利益率

科 目	(単位:%)	
	2022年度	2023年度
総資産経常利益率	0.05	0.10
総資産当期純利益率	0.04	0.09

(注) 総資産経常(当期純)利益率 =  $\frac{\text{経常(当期純)利益}}{\text{総資産(債務保証見返を除く)平均残高}} \times 100$

## 受取利息及び支払利息の分析

科 目	(単位:千円)					
	2022年度			2023年度		
	残高による増減	利率による増減	純増減	残高による増減	利率による増減	純増減
受 取 利 息	△878	△39,888	△40,766	△24,308	83,963	59,655
うち貸出金	△21,851	△59,741	△81,592	△17,105	35,984	18,879
うち預け金	△3,451	5,256	1,805	2,369	35,281	37,650
うち有価証券	24,424	14,596	39,020	△9,572	12,697	3,125
支 払 利 息	△158	△3,582	△3,741	△61	-	△61
うち預金積金	△158	△3,582	△3,741	△61	-	△61
うち借入金	-	-	-	-	-	-

(注) 残高及び利率の増減要因が重なる部分については、両者の増減割合に応じて按分しております。

## 預金に関する指標

### 預金、譲渡性預金平均残高

区 分	(単位:百万円)	
	2022年度	2023年度
流動性預金	33,222	33,397
うち有利息預金	29,582	29,833
定期性預金	49,417	48,788
うち固定金利定期預金	49,417	48,788
うち変動金利定期預金	-	-
その他	1,221	1,133
計	83,861	83,319
譲渡性預金	-	-
合 計	83,861	83,319

### 定期預金残高

区 分	(単位:百万円)	
	2022年度	2023年度
定期預金	45,550	44,135
固定金利定期預金	45,550	44,135
変動金利定期預金	-	-
その他	-	-

(注) 1. 流動性預金 = 当座預金 + 普通預金 + 貯蓄預金 + 通知預金  
2. 定期性預金 = 定期預金 + 定期積金  
固定金利定期預金: 預入時に満期日までの利率が確定する定期預金  
変動金利定期預金: 預入期間中の市場金利の変化に応じて金利が変動する定期預金  
3. その他 = 別段預金 + 納税準備預金

# 貸出金等に関する指標

## 貸出金平均残高

(単位:百万円、%)

科 目	2022年度		2023年度	
	貸出金平残	構成比	貸出金平残	構成比
割引手形	293	0.8	300	0.8
手形貸付	1,370	3.8	1,077	3.1
証書貸付	31,273	87.5	29,914	86.7
当座貸越	2,799	7.8	3,192	9.2
合 計	35,736	100.0	34,485	100.0

## 貸出金残高

(単位:百万円)

科 目	2022年度	2023年度
貸出金残高	34,935	31,278
固定金利	28,491	25,156
変動金利	6,443	6,121

## 貸出金の担保別内訳

(単位:百万円)

科 目	2022年度	2023年度
当金庫預金積金	595	640
有価証券	9	-
動 産	149	151
不 動 産	3,288	3,165
そ の 他	-	-
信用保証協会・保証保険	11,844	10,888
保 証	1,937	1,972
信 用	17,110	14,461
合 計	34,935	31,278

## 債務保証見返の担保別内訳

(単位:百万円)

科 目	2022年度	2023年度
当金庫預金積金	-	-
有価証券	-	-
動 産	-	-
不 動 産	13	13
そ の 他	-	-
信用保証協会・保証保険	-	-
保 証	-	-
信 用	2	1
合 計	15	15

## 使途別貸出金残高

(単位:百万円、%)

科 目	2022年度		2023年度	
	貸出金残高	構成比	貸出金残高	構成比
運転資金	26,232	75.0	22,668	72.4
設備資金	8,703	24.9	8,609	27.5
合 計	34,935	100.0	31,278	100.0

## 貸出金業種別内訳

(単位:百万円、%)

科 目	2022年度			2023年度		
	貸出先数	貸出金残高	構成比	貸出先数	貸出金残高	構成比
製 造 業	102	4,467	12.7	90	4,286	13.7
農 業 ・ 林 業	5	320	0.9	4	276	0.8
漁 業	-	-	-	-	-	-
鉱業・採石業・砂利採取業	1	103	0.2	1	124	0.3
建 設 業	153	3,145	9.0	146	2,853	9.1
電気・ガス・熱供給・水道業	2	11	0.0	2	14	0.0
情 報 通 信 業	-	-	-	-	-	-
運輸業・郵便業	7	490	1.4	6	437	1.3
卸売業・小売業	84	1,790	5.1	73	1,487	4.7
金融業・保険業	2	291	0.8	1	2	0.0
不 動 産 業	29	806	2.3	26	718	2.2
物 品 賃 貸 業	1	24	0.0	1	24	0.0
学術研究・専門・技術サービス業	2	76	0.2	2	58	0.1
宿 泊 業	3	377	1.0	4	391	1.2
飲 食 業	48	529	1.5	45	524	1.6
生活関連サービス業・娯楽業	16	140	0.4	17	126	0.4
教育・学習支援業	1	16	0.0	1	8	0.0
医 療 ・ 福 祉	10	940	2.6	12	896	2.8
その他のサービス	63	1,822	5.2	63	1,720	5.4
小 計	529	15,355	43.9	494	13,952	44.6
地方公共団体	7	10,992	31.4	6	8,621	27.5
個 人	2,487	8,587	24.5	2,434	8,704	27.8
合 計	3,023	34,935	100.0	2,934	31,278	100.0

(注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

## 貸倒引当金内訳

(単位:百万円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	
			目的使用	その他		
一般貸倒引当金	2022年度	48	16	-	48	16
	2023年度	16	12	-	16	12
個別貸倒引当金	2022年度	306	286	110	195	286
	2023年度	286	314	7	278	314
合 計	2022年度	354	302	110	243	302
	2023年度	302	327	7	295	327

## 貸出金償却

(単位:千円)

科 目	2022年度	2023年度
貸 出 金 償 却	2,105	-

## 預貸率

(単位:%)

	2022年度	2023年度
期 末 預 貸 率	43.02	39.17
期 中 平 均 預 貸 率	42.61	41.38

(注) 預 貸 率 =  $\frac{\text{貸出金}}{\text{預金積金} + \text{譲渡性預金}} \times 100$

# 有価証券に関する指標

## 商品有価証券の種類別の平均残高

●該当ありません。

## 有価証券の種類別の平均残高

			(単位:百万円)				(単位:百万円)
			2022年度				2023年度
国	債		1,776	国	債		2,217
地	方	債	6,634	地	方	債	5,508
社		債	12,587	社		債	11,786
株		式	314	株		式	230
外	国	証 券	4,897	外	国	証 券	5,547
そ	の	他	の	証	券		4,958
合		計	31,511	合		計	30,248

## 有価証券の種類別の残存期間別の残高

2022年度		(単位:百万円)							
		1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の 定め ないもの	合 計
国	債	-	-	-	-	112	2,078	-	2,190
地	方	債	903	3,020	100	1,127	593	97	5,842
社		債	1,279	2,845	1,623	1,896	2,469	1,623	11,739
株		式	-	-	-	-	-	270	270
外	国	証 券	-	-	-	-	-	5,054	5,054
そ	の	他	の	証	券		-	1,484	4,634

2023年度		(単位:百万円)							
		1年以下	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の 定め ないもの	合 計
国	債	-	-	-	-	218	1,855	-	2,074
地	方	債	707	2,395	397	718	688	191	5,098
社		債	1,301	2,437	1,812	2,741	1,371	1,774	11,439
株		式	-	-	-	-	-	239	239
外	国	証 券	-	-	-	-	-	5,235	5,235
そ	の	他	の	証	券		70	643	4,412

## 預証率の期末値及び期中平均値

		(単位:%)	(単位:%)
		2022年度	2023年度
期 末 預 証 率		36.61	35.69
期 中 平 均 預 証 率		37.57	36.30

(注) 預 証 率 =  $\frac{\text{有価証券}}{\text{預金積金} + \text{譲渡性預金}} \times 100$

## 有価証券の取得価格、時価及び評価損益

### 2022年度

#### 満期保有目的の債券

●該当ありません。

#### その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	148	124	24
	債 券	9,541	9,415	126
	国 債	224	199	24
	地方債	4,752	4,701	50
	社 債	4,564	4,514	50
	そ の 他	295	269	26
	小 計	9,986	9,810	176
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	116	148	△31
	債 券	10,230	10,549	△319
	国 債	1,965	2,018	△52
	地方債	1,089	1,099	△9
	社 債	7,175	7,432	△257
	そ の 他	9,393	10,388	△995
	小 計	19,740	21,086	△1,346
合 計		29,726	30,896	△1,169

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。  
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。  
3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

#### 市場価格のない株式等及び組合出資金 (単位:百万円)

区 分	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	4
合 計	4

### 2023年度

#### 満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	—	—	—
	地方債	—	—	—
	社 債	93	93	0
	小 計	93	93	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	—	—	—
	地方債	200	193	△7
	社 債	395	380	△15
	小 計	595	573	△22
合 計		688	666	△22

(注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。

#### その他有価証券

(単位:百万円)

	種 類	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	160	113	46
	債 券	6,579	6,515	63
	国 債	218	199	18
	地方債	3,721	3,699	21
	社 債	2,639	2,615	23
	そ の 他	1,638	1,531	106
	小 計	8,378	8,160	217
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	74	92	△18
	債 券	11,343	11,860	△516
	国 債	1,855	2,022	△166
	地方債	1,176	1,199	△23
	社 債	8,311	8,638	△326
	そ の 他	8,008	8,719	△711
	小 計	19,426	20,672	△1,246
合 計		27,804	28,833	△1,028

(注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。  
2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。  
3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

#### 市場価格のない株式等及び組合出資金 (単位:百万円)

区 分	貸借対照表計上額
非 上 場 株 式	4
合 計	4

#### 金銭の信託

●該当ありません。

#### 第102条第1項第5号に掲げる取引

●該当ありません。

## 金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項

金融商品の時価を、時価の算定に用いたインプットの観察可能性及び重要性に応じて、以下の3つのレベルに分類しております。時価の算定に重要な影響を与えるインプットを複数使用している場合には、それらのインプットがそれぞれ属するレベルのうち、時価の算定における優先順位が最も低いレベルに時価を分類しております。

### レベル1の時価：同一の資産又は負債の活発な市場における（無調整の）相場価格により算定した時価

#### 【主な分類商品】

上場株式、国債等の、取引市場に上場されている商品等で、取引量が活発なものを分類しております。

### レベル2の時価：レベル1のインプット以外の直接又は間接的に観察可能なインプットを用いて算定した時価

#### 【主な分類商品】

地方債、社債（上場企業等）等、市場における取引価格が存在せず、解約又は買戻請求に関して市場参加者からリスクの対価を求められるほどの重要な制限がなく、基準価額を時価とする投資信託、非上場であっても市場金利による割引等で時価を算定可能な商品や、取引市場に上場されているものの取引量が活発ではない商品などを分類しております。

### レベル3の時価：重要な観察できないインプットを使用して算定した時価

#### 【主な分類商品】

仕組債等で、流動性が低いものや、信用スプレッドの重要性が高いものなど、算定にあたって用いる前提によって、時価が変動しやすい商品を分類しておりますが、当金庫の保有はありません。

#### (1) 時価をもって貸借対照表計上額とする金融資産及び金融負債

(単位:百万円)

区 分	時 価			合 計
	レベル1	レベル2	レベル3	
有価証券(その他有価証券)	3,018	24,786	—	27,804
うち 株 式	234	—	—	234
国 債	2,074	—	—	2,074
地 方 債	—	4,897	—	4,897
社 債	—	10,951	—	10,951
その他の証券	709	8,937	—	9,647
金 融 資 産 計	3,018	24,786	—	27,804

\*1： 有価証券には、企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（令和3年6月17日）第24-3項及び第24-9項の基準価額を時価とみなす取扱いを適用した投資信託は含めておりませんが、当金庫では、第24-3項及び第24-9項の基準価額を時価とみなす取扱いを適用した投資信託はありません。

\*2： 重要性の乏しい科目については記載を省略しております。

#### (2) 時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債

当金庫では、時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債のうち、預け金、貸出金、預金積金については、「金融商品の時価等に関する事項」の注記において、「簡便な計算により算出した時価に代わる金額」を使用しているため、時価のレベルごとの内訳の開示の対象としておりません。

また、上記以外の時価をもって貸借対照表計上額としない金融資産及び金融負債についても重要性が乏しいため、時価のレベルごとの内訳の開示を省略しております。

(注) 当金庫では、原則「金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項（単体）」に関して、企業会計基準適用指針第19号「金融商品の時価等に関する適用指針」（第5-2項）を基に、当金庫の内部管理上のレベル情報を記載しております。

本開示事項は会計監査の対象外となります。したがって、記載内容はあくまで内部管理に基づく定義・分類方法等によるものです。

# 最近5年間の主要な事業の状況

## 利益・残高・自己資本比率の推移

(単位:利益 千円、残高 百万円、%)

区 分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
利益	986,100	1,026,453	1,050,462	1,046,717	1,069,202
経常利益	△892,997	91,521	49,693	43,844	86,775
経常利益(又は経常損失(△))	△892,997	91,521	49,693	43,844	86,775
当期純利益	△896,843	89,986	48,656	42,914	82,536
当期純利益(又は当期純損失(△))	△896,843	89,986	48,656	42,914	82,536
純資産額	3,632	3,951	3,628	2,542	2,759
総資産額	80,968	86,341	87,932	83,942	82,787
預金積金残高	77,074	82,025	84,122	81,206	79,839
貸出金残高	35,120	37,159	36,134	34,935	31,278
有価証券残高	25,173	27,371	30,231	29,731	28,498
単体自己資本比率	12.97	13.56	13.31	13.85	14.04

## 会員数・出資金の推移

区 分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
会員数(人)	8,824	8,745	8,642	8,502	8,336
出資金(百万円)	311	312	312	313	313
出資口数(口)	311,695	312,355	312,536	313,071	313,105
配当金(百万円)	9	6	6	6	6
出資1口当たり(円)	29	19	19	19	19

## 役職員数の推移

(単位:人)

区 分	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
役員数	10	11	11	9	9
うち常勤役員数	4	5	5	4	4
職員数	80	86	81	83	85
うち男子	46	46	44	42	43
うち女子	34	40	37	41	42

(注) 職員数にアルバイト・パートは含んでおりません。

## 役職員の報酬体系の開示

### 1.対象役員

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象役員」は、常勤理事及び常勤監事をいいます。対象役員に対する報酬等は、職務執行の対価として支払う「基本報酬」及び「賞与」、在任期間中の職務執行及び特別功勞の対価として退任時に支払う「退職慰労金」で構成されております。

#### (1)報酬体系の概要

##### 【基本報酬及び賞与】

非常勤を含む全役員の基本報酬及び賞与につきましては、総代会において、理事全員及び監事全員それぞれの支払総額の最高限度額を決定しております。

##### 【退職慰労金】

退職慰労金につきましては、在任期間中に毎期引当金を計上し、退任時に総代会で承認を得た後、支払っております。

#### (2)2023年度における対象役員に対する報酬等の支払総額

(単位:百万円)

区 分	支払総額
対象役員に対する報酬等	39

(注) 1. 対象役員に該当する理事は3名、監事は1名です。

2. 上記の内訳は、「基本報酬」39百万円となっております。

#### (3)その他

「信用金庫法施行規則第132条第1項第6号等の規定に基づき、報酬等に関する事項であって、信用金庫等の業務の運営又は財産の状況に重要な影響を与えるものとして金融庁長官が別に定めるものを定める件」(平成24年3月29日付金融庁告示第22号)第2条第1項第3号及び第6号並びに第3条第1項第3号及び第6号に該当する事項はありませんでした。

### 2.対象職員等

当金庫における報酬体系の開示対象となる「対象職員等」は、当金庫の非常勤役員、当金庫の職員、当金庫の主要な連結子法人等の役職員であって、対象役員が受ける報酬等と同等額以上の報酬等を受ける者のうち、当金庫の業務及び財産の状況に重要な影響を与える者をいいます。

なお、2023年度において、対象職員等に該当する者はいませんでした。

(注) 1. 対象職員等には、期中に退任・退職した者も含めております。

2. 「主要な連結子法人等」とは、当金庫の連結子法人等のうち、当金庫の連結総資産に対して2%以上の資産を有する会社等をいいます。なお、2023年度においては、該当する会社はありませんでした。

3. 「同等額」は、2023年度に対象役員に支払った報酬等の平均額としております。

4. 2023年度において、対象役員が受ける報酬等と同等額以上の報酬等を受ける者はいませんでした。

# 不良債権額等

## 信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円、%)

区 分	年 度	開示残高 (a)	保 全 額 (b)	担保・保証等による 回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2022年度	337	337	244	93	100.00%	100.00%
	2023年度	343	343	220	123	100.00%	100.00%
危 険 債 権	2022年度	1,827	1,257	1,065	192	68.84%	25.27%
	2023年度	1,701	1,092	900	191	64.23%	23.97%
要 管 理 債 権	2022年度	76	31	30	0	40.99%	1.86%
	2023年度	31	8	7	0	25.65%	1.08%
三月以上延滞債権	2022年度	-	-	-	-	-	-
	2023年度	-	-	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	2022年度	76	31	30	0	40.99%	1.86%
	2023年度	31	8	7	0	25.65%	1.08%
小 計 (A)	2022年度	2,241	1,627	1,339	287	72.59%	31.86%
	2023年度	2,076	1,444	1,128	315	69.56%	33.27%
正 常 債 権 (B)	2022年度	32,733					
	2023年度	29,241					
総与信残高 (A)+(B)	2022年度	34,974					
	2023年度	31,317					

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」に該当しない債権です。
3. 「要管理債権」とは、信用金庫法上の「三月以上延滞債権」に該当する貸出金と「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金の合計額です。
4. 「三月以上延滞債権」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」及び「危険債権」に該当しない貸出金です。
5. 「貸出条件緩和債権」とは、債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「三月以上延滞債権」に該当しない貸出金です。
6. 「正常債権」(B)とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「要管理債権」以外の債権です。
7. 「担保・保証等による回収見込額」(c)は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
8. 「貸倒引当金」(d)には、正常債権に対する一般貸倒引当金を除いて計上しております。
9. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」及び「正常債権」が対象となる債権は、貸借対照表の「有価証券」中の社債(その元本の償還及び利息の支払の全部又は一部について保証しているものであって、当該社債の発行が有価証券の私募(金融商品取引法第2条第3項)によるものに限る。)、貸出金、外国為替、「その他資産」中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返の各勘定に計上されるもの並びに注記されている有価証券の貸付けを行っている場合のその有価証券(使用貸借又は賃貸借契約によるものに限る。)です。

# バーゼルⅢ 定性的な開示事項

## 1. 自己資本調達手段の概要

当金庫の自己資本につきましては、地域のお客様による普通出資金にて調達しております。

## 2. 自己資本の充実度に関する評価方法の概要

当金庫は、これまで、内部留保による資本の積上げ等を行うことにより自己資本を充実させ、経営の健全性・安全性を充分保っていると評価しております。なお、将来の自己資本の充実策については、年度毎に掲げる収支計画に基づいた業務推進を通じ、そこから得られる利益による資本の積上げを第一施策としております。

## 3. 信用リスク管理に関する項目

### リスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関の名称

リスク・ウェイトの判定に使用する適格格付機関は、以下の4つの機関を採用しています。

なお、エクスポージャーの種類毎に適格格付機関の仕分けは行っておりません。

- ムーディーズ (Moody's)
- S&Pグローバル・レーティング (S&P)
- 格付投資情報センター (R&I)
- 日本格付研究所 (JCR)

## 4. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関するリスク管理の方針及び手続きの概要

派生商品取引には、市場の変動により損失を受ける可能性のある市場リスクが内包されており、当金庫は、派生商品の直接取引はありませんが、投資信託等の運用資産の一部に該当リスクが含まれています。なお、投資信託等有価証券関連取引については、有価証券にかかる投資方針の中で定められている投資枠内での取引に限定しており、適切なリスク管理に努めております。また、長期決済期間取引は該当ありません。

## 5. 証券化エクスポージャーに関する事項

証券化エクスポージャーは、該当ありません。

## 6. オペレーショナル・リスクに関する項目

### オペレーショナル・リスク相当額の算出に使用する手法の名称

当金庫は、オペレーショナル・リスク相当額の算出については、基礎的手法（粗利益の15%の3年間平均）を用いて算出しており、その額は149,603千円です。

## 7. 銀行勘定における出資その他これに類するエクスポージャーまたは株式等エクスポージャーに関するリスク管理の方針および手続きの概要

上場株式、株式関連投資信託にかかるリスクの認識については、時価評価によるリスク計測によって把握するとともに、当金庫の市場リスク状況、ストレステストの結果等をALM委員会に報告しております。一方、非上場株式、取引関連先への出資金に関しては、他の有価証券同様に適正な運用・管理を行っております。また、リスクの状況は、財務諸表や運用報告を基にした評価による定期的なモニタリングを実施するとともに、その状況については、理事会、常務会で経営陣に報告を行い、適切なリスク管理に努めております。

なお、当該取引にかかる会計処理については、当金庫が定める「有価証券会計処理基準」および日本公認会計士協会の「金融商品会計に関する実務指針」に則った適正な処理を行っております。

## 8. 銀行勘定における金利リスクに関する事項

### ① リスク管理の方針および手続きの概要

金利リスクとは、市場金利の変動によって受ける資産・負債の価値の変動や、将来の収益性に対する影響を言いますが、当金庫においては有価証券に関しては月次で、銀行勘定全体に関しては四半期毎に評価・計測を行い、適宜、対策を講じる態勢としております。

具体的には、一定の金利ショックを想定した場合の金利リスクの計測、金利更改を勘案した期間損益シミュレーションによる収益への影響度、新商品導入による影響、その他の市場リスク（株式リスク等）との相関等について、ALM委員会において協議・検討をし、経営陣に報告を行っており、資産・負債の残高や期間構成の適正化を図るなどのリスクコントロールに努めております。

また、金利リスクが過大になっていると判断した場合には、有価証券売却によりリスク低減を図れるよう、予め売却の候補銘柄を選定しておくといった対策を講じております。

### ② 金利リスクの算定手法の概要

(1) 開示告示に基づく定量的開示の対象となる $\Delta EVE$ （＝金利変動による資産・負債の現在価値変化の指標）及び $\Delta NII$ （＝金利変動による将来の金利収入変化の指標）並びに金利リスクに関する事項

- 流動性預金に割り当てられた金利改定の平均満期  
1.25年
- 流動性預金に割り当てられた最長の金利改定満期  
5年
- 流動性預金への満期の割当て方法及びその前提  
金融庁の定める保守的な前提を採用しております。
- 固定金利貸出の期限前返済や定期預金の早期解約に関する前提  
金融庁の定める保守的な前提を採用しております。
- 複数の通貨の集計方法およびその前提  
通貨別に算出した金利リスクの正値のみ合算し、通貨間の相関は考慮しておりません。
- スプレッドに関する前提  
割引金利について、固定利付債は国債金利を、それ以外の商品（預金・貸出金・預け金・投資信託等）はスワップレートをリスクフリーレートとして使用しており、信用スプレッド等については考慮していません。
- 内部モデルの使用等、 $\Delta EVE$ 及び $\Delta NII$ に重大な影響を及ぼすその他の前提  
内部モデルの使用はありません。
- 前事業年度末の開示からの変動に関する説明  
前年度と同様の手法で算出しております。
- 計測値の解釈や重要性に関するその他の説明  
 $\Delta EVE$ は、シナリオに応じた金利ショックを与え、再評価した資産・負債の価格と、金利変化させる前の資産・負債の価格との差額としております。  
 $\Delta NII$ は、シナリオに応じた金利ショックを与えた後の、再投資を考慮した利息収入と、金利変化させる前の利息収入との差額としております。  
当金庫では、金利リスクを重要なリスクの一つとして認識しており、市場の急変などによって経営指標に大きな影響を与えるリスクの顕在化に備え、損失限度額の設定や、アクションプランの策定等で、迅速かつ適切な対応が取れるようなリスク管理態勢作りに努めております。

(2) 自己資本の充実度の評価、ストレステスト、リスク管理、収益管理、経営上の判断その他の目的で計測している、 $\Delta EVE$ 及び $\Delta NII$ 以外の金利リスクに関する事項

当金庫では、金利リスクとその他の市場リスクを一体的にした統合リスク管理において、四半期毎にVaR（信頼区間99%、観測期間5年、保有期間6ヵ月）を用いてリスク量を計測し、バックテストを実施の上、配賦資本の範囲内にあるかどうかモニタリングを行い、リスク管理委員会・常務会に報告するなど、リスクコントロールに努めております。

また、金利の変動に加え、株価・REITと為替の変動が同時に起こった場合、また、過去の事例のシナリオを用いたストレステストを行うことで、期間損益や自己資本など経営指標に与える影響についてモニタリングを月次で実施し、ALM委員会・常務会に報告を行い、リスクコントロールに努めております。

# バーゼルⅢ 定量的な開示事項

## 1. 自己資本の構成に関する開示事項

### ① 自己資本比率の推移

(単位:%)

年 度	自己資本比率
2020年度	13.56
2021年度	13.31
2022年度	13.85
2023年度	14.04

### ■ 自己資本比率の推移

(単位:%)



### ② 自己資本比率の状況

(単位:百万円、%)

項 目	2022年度	2023年度
コア資本に係る基礎項目 (1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	3,706	3,782
うち、出資金及び資本剰余金の額	313	313
うち、利益剰余金の額	3,399	3,475
うち、外部流出予定額 (△)	6	6
うち、上記以外に該当するものの額	—	△0
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	16	12
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	16	12
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	3,722	3,795
コア資本に係る調整項目 (2)		
無形固定資産 (モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	9	9
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	9	9
繰延税金資産 (一時差異に係るものを除く。)の額	—	—
適格引当金不足額	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—
前払年金費用の額	0	21
自己保有普通出資等 (純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	—	—
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	—	—
特定項目に係る10パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
特定項目に係る15パーセント基準超過額	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関するものの額	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—
うち、繰延税金資産 (一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	9	30
自己資本		
自己資本の額 [(イ) - (ロ)] (ハ)	3,712	3,765
リスク・アセット等 (3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	24,977	24,942
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△435	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△435	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	1,813	1,870
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	26,791	26,812
自己資本比率		
自己資本比率 [(ハ) / (ニ)]	13.85	14.04

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準 (平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

## 2. 自己資本の充実度に関する事項

(単位:百万円)

	2022年度		2023年度	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスク・アセット、所要自己資本の額の合計	24,977	999	24,942	997
① 標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	20,458	818	20,071	802
ソブリン向け	149	5	148	5
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	3,376	135	3,709	148
法人等向け	9,088	363	9,080	363
中小企業等向け及び個人向け	2,297	91	2,419	96
抵当権付住宅ローン	584	23	527	21
不動産取得等事業向け	1,258	50	999	39
三月以上延滞等	158	6	146	5
取立未済手形	0	0	2	0
信用保証協会等による保証付	110	4	106	4
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-
出資等	376	15	301	12
出資等のエクスポージャー	376	15	301	12
重要な出資のエクスポージャー	-	-	-	-
上記以外	3,056	122	2,629	105
他の金融機関等の対象資本等調達手段のうち対象普通出資等及びその他外部TLAC関連調達手段に該当するもの以外に係るエクスポージャー	725	29	-	-
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	383	15	675	27
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	-	-	-	-
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有している他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段に関するエクスポージャー	-	-	-	-
総株主等の議決権の百分の十を超える議決権を保有していない他の金融機関等に係るその他外部TLAC関連調達手段のうち、その他外部TLAC関連調達手段に係る5%基準額を上回る部分に係るエクスポージャー	128	5	64	2
上記以外のエクスポージャー	1,818	72	1,888	75
② 証券化エクスポージャー	-	-	-	-
証券化	-	-	-	-
S T C 要件適用分	-	-	-	-
非 S T C 要件適用分	-	-	-	-
再証券化	-	-	-	-
③ リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー	4,888	195	4,812	192
ルック・スルー方式	4,888	195	4,812	192
マンドレート方式	-	-	-	-
蓋然性方式(250%)	-	-	-	-
蓋然性方式(400%)	-	-	-	-
フォールバック方式(1250%)	-	-	-	-
④ 経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	-	-	-	-
⑤ 他の金融機関等の対象資本等調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△435	△17	-	-
⑥ CVAリスク相当額を8%で除して得た額	65	2	58	2
⑦ 中央清算機関関連エクスポージャー	0	0	0	0
ロ. オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	1,813	72	1,870	74
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	26,791	1,071	26,812	1,072

- (注) 1. 所要自己資本の額 = リスク・アセット × 4%  
 2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフ・バランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。  
 3. 「三月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」から「法人等向け」(「国際決済銀行等向け」を除く)においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。  
 4. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスク相当額を算定しております。

<オペレーショナル・リスク相当額(基礎的手法)の算定方法>  

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$

5. 単体総所要自己資本額 = 単体自己資本比率の分母の額 × 4%

### 3.信用リスクに関する事項(リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー及び証券化エクスポージャーを除く)

#### ①信用リスクに関するエクスポージャー及び主な種類別の期末残高<地域別・業種別・残存期間別>

2022年度					2023年度				
(単位:百万円)					(単位:百万円)				
エクスポージャー区分 地域区分 業種区分 期間区分	信用リスクエク スポージャー 期末残高	貸出金・コミットメント及 びその他のデリバティブ 以外のオフ・バランス取引	債 券	三月以上延滞 エクスポージャー	エクスポージャー区分 地域区分 業種区分 期間区分	信用リスクエク スポージャー 期末残高	貸出金・コミットメント及 びその他のデリバティブ 以外のオフ・バランス取引	債 券	三月以上延滞 エクスポージャー
国 内	74,538	34,974	19,988	289	国 内	73,652	31,317	19,086	303
国 外	85	-	-	-	国 外	43	-	-	-
地 域 別 合 計	74,624	34,974	19,988	289	地 域 別 合 計	73,695	31,317	19,086	303
製 造 業	6,992	4,572	2,304	89	製 造 業	7,056	4,386	2,596	116
農 業 ・ 林 業	335	335	-	-	農 業 ・ 林 業	289	289	-	-
漁 業	-	-	-	-	漁 業	-	-	-	-
鉱業・採石業・砂利採取業	103	103	-	-	鉱業・採石業・砂利採取業	124	124	-	-
建 設 業	3,602	3,492	100	46	建 設 業	3,348	3,238	100	45
電気・ガス・熱供給・水道業	914	13	900	-	電気・ガス・熱供給・水道業	921	20	900	-
情 報 通 信 業	338	-	302	-	情 報 通 信 業	338	-	302	-
運 輸 業 ・ 郵 便 業	2,518	495	2,008	-	運 輸 業 ・ 郵 便 業	2,361	446	1,899	-
卸 売 業 ・ 小 売 業	2,290	1,884	400	114	卸 売 業 ・ 小 売 業	2,070	1,569	495	107
金 融 業 ・ 保 険 業	18,204	305	1,100	-	金 融 業 ・ 保 険 業	20,941	18	2,395	-
不 動 産 業	1,513	821	602	19	不 動 産 業	1,228	749	402	18
物 品 質 貸 業	325	24	300	-	物 品 質 貸 業	325	24	300	-
学術研究専門技術サービス業	222	104	100	-	学術研究専門技術サービス業	203	84	100	-
宿 泊 業	378	378	-	-	宿 泊 業	392	392	-	-
飲 食 業	582	582	-	19	飲 食 業	591	591	-	14
生活関連サービス業・娯楽業	219	218	-	-	生活関連サービス業・娯楽業	216	215	-	-
教育・学習支援業	38	38	-	-	教育・学習支援業	30	30	-	-
医 療 ・ 福 祉	973	973	-	-	医 療 ・ 福 祉	928	928	-	-
その他のサービス	1,962	1,950	-	-	その他のサービス	1,927	1,815	100	-
国・地方公共団体等	24,070	10,996	11,866	-	国・地方公共団体等	21,115	8,625	9,493	-
個 人	7,683	7,683	-	-	個 人	7,763	7,763	-	-
そ の 他	1,352	-	-	-	そ の 他	1,518	-	-	-
業 種 別 合 計	74,624	34,974	19,988	289	業 種 別 合 計	73,695	31,317	19,086	303
1 年 以 下	20,727	6,732	2,179	-	1 年 以 下	17,377	6,663	2,006	-
1 年 超 3 年 以 下	15,776	6,648	5,823	-	1 年 超 3 年 以 下	12,072	4,241	4,827	-
3 年 超 5 年 以 下	4,434	2,699	1,734	-	3 年 超 5 年 以 下	6,132	2,893	2,236	-
5 年 超 7 年 以 下	6,212	3,181	3,030	-	5 年 超 7 年 以 下	8,995	5,486	3,508	-
7 年 超 10 年 以 下	11,929	8,720	3,208	-	7 年 超 10 年 以 下	9,693	5,280	2,306	-
10 年 超	11,577	6,763	4,011	-	10 年 超	13,652	6,542	4,199	-
期間の定めのないもの	3,965	227	-	-	期間の定めのないもの	5,772	210	-	-
残 存 期 間 別 合 計	74,624	34,974	19,988	-	残 存 期 間 別 合 計	73,695	31,317	19,086	-

- (注)1. オフ・バランス取引は、デリバティブ取引を除く。  
 2. 「三月以上延滞エクスポージャー」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上延滞している債務者に係るエクスポージャーのことです。  
 3. 上記の「その他」は、裏付となる個々の資産の全部又は一部を把握することや、業種区分に分類することが、困難なエクスポージャーです。  
 具体的には、現金、有形固定資産などが含まれます。  
 4. CVAリスクおよび中央清算機関関連エクスポージャーは含まれておりません。  
 5. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

#### ②一般貸倒引当金、個別貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額

●36ページ 貸倒引当金内訳 参照

### ③業種別の個別貸倒引当金及び貸出金償却の残高等

2022年度 (単位:百万円)			2023年度 (単位:百万円)		
項目	期末残高	貸出金償却	項目	期末残高	貸出金償却
製 造 業	66	0	製 造 業	89	-
農 業・林 業	-	-	農 業・林 業	-	-
漁 業	-	-	漁 業	-	-
鉱業・採石業・砂利採取業	-	-	鉱業・採石業・砂利採取業	-	-
建 設 業	22	-	建 設 業	28	-
電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	電気・ガス・熱供給・水道業	-	-
情報通信業	-	-	情報通信業	-	-
運輸業・郵便業	-	-	運輸業・郵便業	-	-
卸売業・小売業	75	-	卸売業・小売業	73	-
金融業・保険業	-	-	金融業・保険業	-	-
不動産業	9	-	不動産業	9	-
物品賃貸業	-	-	物品賃貸業	-	-
学術研究・専門・技術サービス業	-	-	学術研究・専門・技術サービス業	-	-
宿泊業	96	-	宿泊業	99	-
飲食業	8	-	飲食業	9	-
生活関連サービス業・娯楽業	-	-	生活関連サービス業・娯楽業	-	-
教育・学習支援業	-	-	教育・学習支援業	-	-
医療・福祉	-	-	医療・福祉	-	-
その他のサービス	5	-	その他のサービス	5	-
国・地方公共団体等	-	-	国・地方公共団体等	-	-
個 人	0	1	個 人	1	-
合 計	286	2	合 計	314	-

(注)1. 当金庫は、国内の限定されたエリアにて事業活動を行っているため「地域別」の区分は省略しております。

### ④リスク・ウェイトの区分ごとのエクスポージャーの額等

告示で定める リスク・ウェイト区分	エクスポージャーの額 (単位:百万円)			
	2022年度		2023年度	
	格付適用有り	格付適用無し	格付適用有り	格付適用無し
0%	-	29,468	-	27,120
10%	-	2,602	-	2,550
20%	23,534	4	25,221	14
35%	-	1,057	-	946
50%	4,779	206	5,102	227
75%	-	2,191	-	2,400
100%	898	9,758	798	9,119
150%	-	116	-	73
250%	-	5	-	119
1,250%	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-
合 計	74,624	-	73,695	-

- (注)1. 格付は適格格付機関が付与しているものに限ります。  
 2. エクスポージャーは信用リスク削減手法適用後のリスク・ウェイトに区分しています。  
 3. コア資本に係る調整項目となったエクスポージャー、CVAリスクおよび中央清算機関関連エクスポージャーは含まれておりません。

### 4. 信用リスク削減手法に関する事項

#### ①信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

信用リスク削減手法	(単位:百万円)			
	適格金融資産担保		保 証	
	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度
ポートフォリオ	-	-	-	-
信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー	641	716	8,210	7,680

(注) 当金庫は、適格金融資産担保について簡便手法を用いております。

### 5. 派生商品取引及び長期決済期間取引の取引相手のリスクに関する事項

●該当ありません。

### 6. 証券化エクスポージャーに関する事項

●該当ありません。

### 8. リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャーに関する事項

区 分	2022年度	2023年度
ルック・スルー方式を適用するエクスポージャー	10,494	10,130
マンデート方式を適用するエクスポージャー	-	-
蓋然性方式(250%)を適用するエクスポージャー	-	-
蓋然性方式(400%)を適用するエクスポージャー	-	-
フォールバック方式(1250%)を適用するエクスポージャー	-	-

### 9. 金利リスクに関する事項

IRRBB 1 : 金利リスク (単位:百万円)					
項 番	内 容	イ △EVE		ハ △NII	
		当期末	前期末	当期末	前期末
1	上方パラレルシフト	2,740	2,612	249	263
2	下方パラレルシフト	0	0	1	0
3	ス テ ィ ー プ 化	1,965	1,834	-	-
4	フ ラ ッ ト 化	-	-	-	-
5	短 期 金 利 上 昇	-	-	-	-
6	短 期 金 利 下 降	-	-	-	-
7	最 大 値	2,740	2,612	249	263
8	自 己 資 本 の 額	3,765	-	3,712	-

(注) 金利リスクの算定手法の概要等は、「定性的な開示事項」の項目に記載しております。

## 連結における事業年度の開示事項

●該当ありません。

### 7. 出資等エクスポージャーに関する事項

#### イ. 貸借対照表計上額及び時価等 (単位:百万円)

区 分	2022年度		2023年度	
	貸借対照表計上額	時 価	貸借対照表計上額	時 価
上場株式等	342	342	308	308
非上場株式等	381	381	501	501
合 計	724	724	809	809

#### ロ. 出資等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額 (単位:百万円)

	2022年度	2023年度
売却益	39	25
売却損	32	4
償 却	-	-

(注) 損益計算書における損益の額を記載しております。

#### ハ. 貸借対照表で認識され、かつ、損益計算書で認識されない評価損益の額 (単位:百万円)

	2022年度	2023年度
評 価 損 益	△8	24

#### ニ. 貸借対照表及び損益計算書で認識されない評価損益の額 (単位:百万円)

	2022年度	2023年度
評 価 損 益	-	-

# 信金中央金庫のご案内 ~信用金庫の「中央金融機関」~

2024年3月末時点

## 概要

信金中央金庫（略称：信金中金）は、全国の信用金庫を会員とする協同組織形態の金融機関であり、信用金庫の中央金融機関として1950年に創立しました。

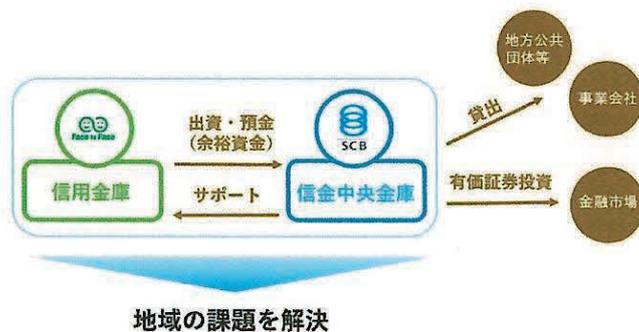
2000年に東京証券取引所に優先出資証券を上場しました（証券コード8421）。

- 役員数：1,263人
- 会員数：254金庫
- 資金量：34兆円
- 拠点数：国内14拠点・海外6拠点

## 事業内容

信金中金は、さまざまな金融商品・サービスを提供しているほか、全国の信用金庫から預け入れられた豊富な資金を国内外の金融市場における有価証券投資や事業会社などへの貸出により運用しています。

また、信金中金は、「地域の課題を解決する機能」、「信用金庫のセントラルバンク機能」および「機関投資家としての機能」を有しており、地域社会の皆さまに質の高いサービスを提供することで、地域におけるさまざまな課題を解決し、信用金庫とともに持続的な成長を目指しています。



## 機能

地域の課題を解決	信用金庫のセントラルバンク	機関投資家
信用金庫がお客さまのために行っている多様な業務をサポートし、顧客ニーズの多様化・高度化に信用金庫が迅速に対応できるよう、中小企業のビジネスマッチングや海外展開、個人の資産形成や相続、地域創生やフィンテックの活用などに取り組んでいます。	信用金庫の収益力向上や健全性確保などに向けて、信用金庫のセントラルバンクとして、コンサルティング機能のさらなる強化や信用金庫業界のサイバーセキュリティ対策のほか、信用金庫経営力強化制度等の適時・適切な運営を通じて、信用金庫業界の信用秩序の維持に万全を期しています。	全国の信用金庫から預け入れられた預金や金融債を発行して調達した資金を、国内外の金融商品や、事業会社などへの貸出により運用しています。また、グローバルに投融資を行っている金融グループとして持続可能な社会の実現に向け、ESG投融資等を推進しています

## ネットワーク

日本全国に広がる254の信用金庫は、約7,000店舗のネットワークを形成しているほか、878万人を超える会員と161兆円の預金量を擁しており、わが国の金融業界の中で重要な地位を占めています。

また、信金中金グループは、信金中金およびグループ会社9社で構成されており、全国の信用金庫と連携しつつグループ一体となって幅広いサービスを提供しています。海外には6拠点を設け、現地銀行とも連携し、信用金庫取引先の海外進出などを支援しています。

## グループ紹介

●証券業務	しんきん証券(株)／信金インターナショナル(株)
●地域商社業務	しんきん地域創生ネットワーク(株) ※2021年7月設立・開業
●海外ビジネス支援業務	信金シンガポール(株) ※2021年2月設立・7月開業
●消費者信用保証業務	信金ギャランティ(株)
●投資運用業務	しんきんアセットマネジメント投信(株)
●投資・M&A仲介業務	信金キャピタル(株)
●データ処理の受託業務等	(株)しんきん情報システムセンター
●事務処理の受託業務等	信金中金ビジネス(株)

信金中金は、邦銀トップクラスの格付を有しております。

2024年3月末時点

格付会社	長期	アウトルック	短期
Moody's	A1	安定的	P-1
S&Pグローバル・レーティング	A	安定的	A-1
格付投資情報センター	A+	安定的	—
日本格付研究所	AA	安定的	—

## 外部格付



【公式 HP】



<https://www.shinkin.co.jp/kamo/>

【公式 LINE】



友だち大募集！